

上書き翻訳ツール ユーザー・マニュアル (Ver. 2.0)

みんなのワードマクロ 新田順也

目次

上書き翻訳とは.....	1
常に工夫を続けます	1
手順.....	1
このマクロでできること	2
初期設定.....	3
インストール方法.....	3
インストールに失敗したら。。。.....	5
体験版ユーザー登録.....	6
正規ユーザー登録.....	7
1. 辞書作り	9
辞書に登録するもの.....	9
一般的な例.....	9
句点や読点も置換	9
ワイルドカードも活用	9
辞書(用語集)の作成支援	10
頻度のヒント:シェアウェア.....	10
OCR ソフト	10
ネットの辞書.....	10
2. ファイル作り	11
原文ファイルの準備	11
ポイント1.....	11
ポイント2.....	12
原文ファイルから翻訳作業用ファイルの作成.....	13
原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル	14
対訳表形式の翻訳作業用ファイル.....	14
翻訳作業用ファイル作成時のオプション設定	15
3. 一括置換	17
英数字の置換.....	17
辞書ファイルによる置換	18
原文を残して訳文のみを一括置換	18
4. 並べ替え	19
文字列の一括置換	19
カーソルを効率的に操る	21
文字列を自在に移動する.....	23
英日翻訳で役立つマクロ	25
日英翻訳で役立つマクロ	26
5. ファイル管理	27
翻訳作業用ファイルから印刷用ファイルの作成.....	27
原文と訳文が上下に並んだ印刷用ファイル(原文に枠あり)	28
原文と訳文が上下に並んだ印刷用ファイル(原文に枠なし)	28
対訳表形式の印刷用ファイル	29
翻訳作業用ファイルから対訳表ファイルの作成.....	30
翻訳作業用ファイルから訳文ファイルの作成.....	31
原文と訳文が上下に並んだ翻訳作業用ファイル	31
対訳表形式の翻訳作業用ファイル.....	32
図の挿入.....	33
翻訳作業用ファイル例	33
訳文ファイル例	33

図を挿入します	34
翻訳後に用語集を作成する方法	36
6. 辞書管理	38
[文字列処理]タブ	38
[並べ替え]タブ	39
[重複管理]タブ	39
【付録1】そのほかの翻訳支援ツール	40
特許明細書の翻訳に役立つマクロ	40
コメントや蛍光ペンを活用する	41
【付録2】ショートカットキーの登録方法	43
1. 「キーボードのユーザー設定」ダイアログボックスを開きます。	44
2. 好みのキーに設定します。	44
【付録3】ショートカットキーの登録における注意点	45
一応狙うところ(理想論)	45
新田の推奨	45
注意したいキーボード設定	45
新田の設定例	46
【付録4】その他の関連情報	48
作者の関連サイト	48
作者連絡先	48
更新履歴	48

上書き翻訳とは

原文ファイル(ソースファイル)に訳語を直接書き込んで翻訳を進める手法です。

一括で用語を置換することで、以下のような効果が見込めます。

疲労軽減
タイプミスの低減
見直し時間・負荷低減
作業時間の見積もり精度向上
原文のスペルミスの発見
原文の不一致の発見
似た単語の誤訳低減

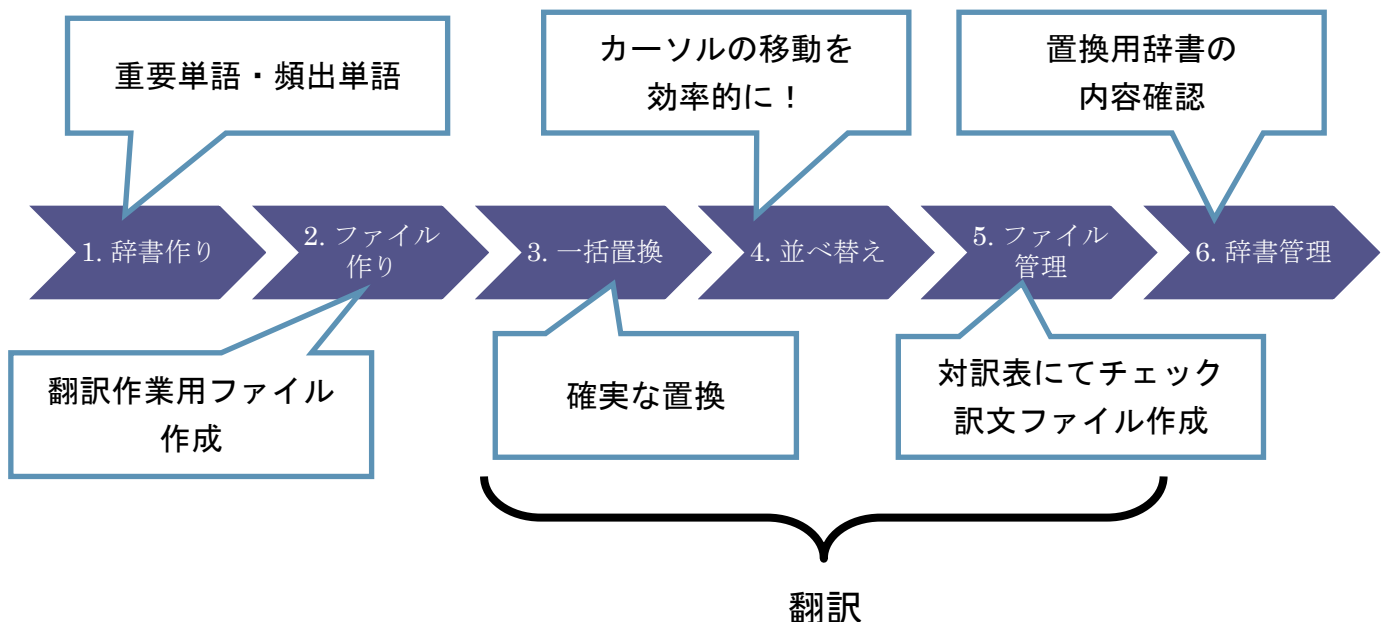
常に工夫を続けます



手順

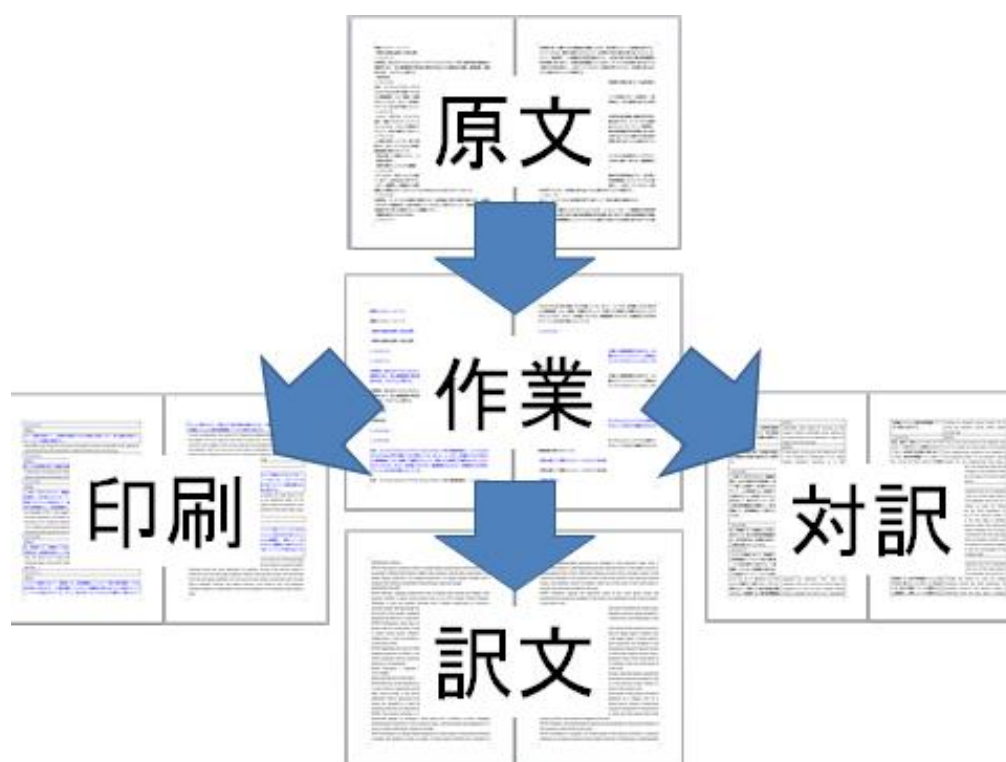
6つのステップについて、本マニュアルで説明します。

1～6のそれぞれの項目の関連ページをご覧ください。



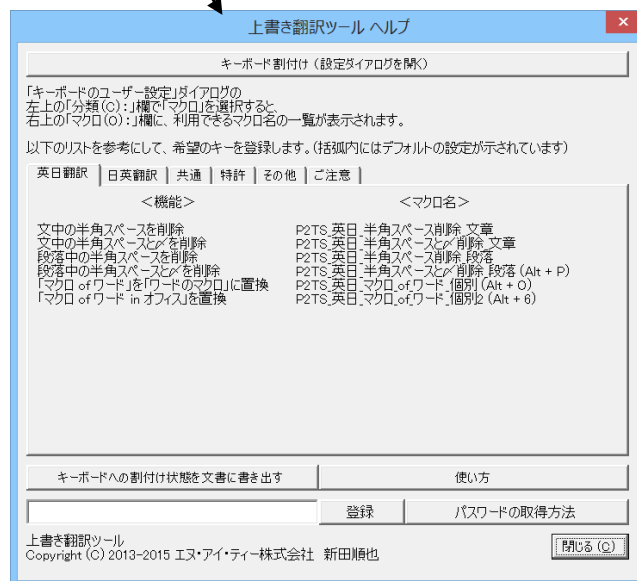
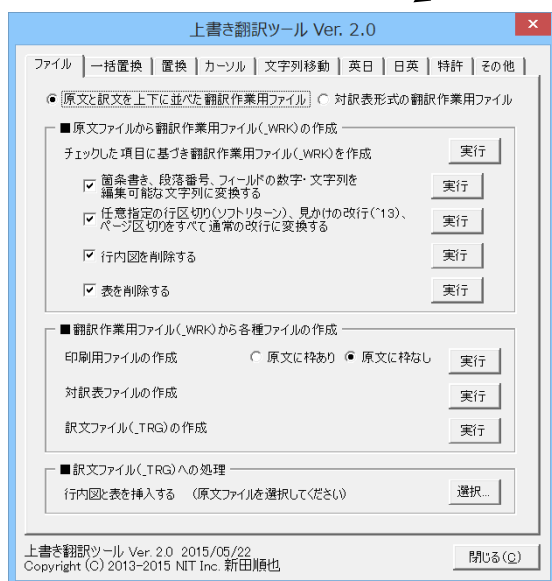
このマクロでできること

原文ファイルから、「翻訳作業用ファイル」、「印刷用ファイル」、「対訳表ファイル」、「訳文ファイル」を作成します。
また、上書き翻訳に必要なカーソル移動マクロも多数あります。



以下のボタンから、ダイアログボックスを表示します。

[上書翻訳] ?



初期設定

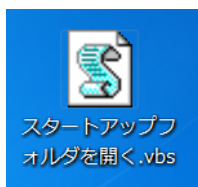
インストール方法

同梱されているマクロテンプレートファイル(mwm_P2TS.dot、mwm_P2TS_SC.dot)のうち 1 つを、Word のスタートアップフォルダに保存することで、このアドインのインストールが完了します。

テンプレート名	機能
mwm_P2TS_SC.dot	ショートカットキーが設定されています。 初めは、こちらのテンプレートをインストールすることをおすすめします。
mwm_P2TS.dot	ショートカットキーが設定されていません。 ほかのソフトと競合しないようにご自身で設定してください。

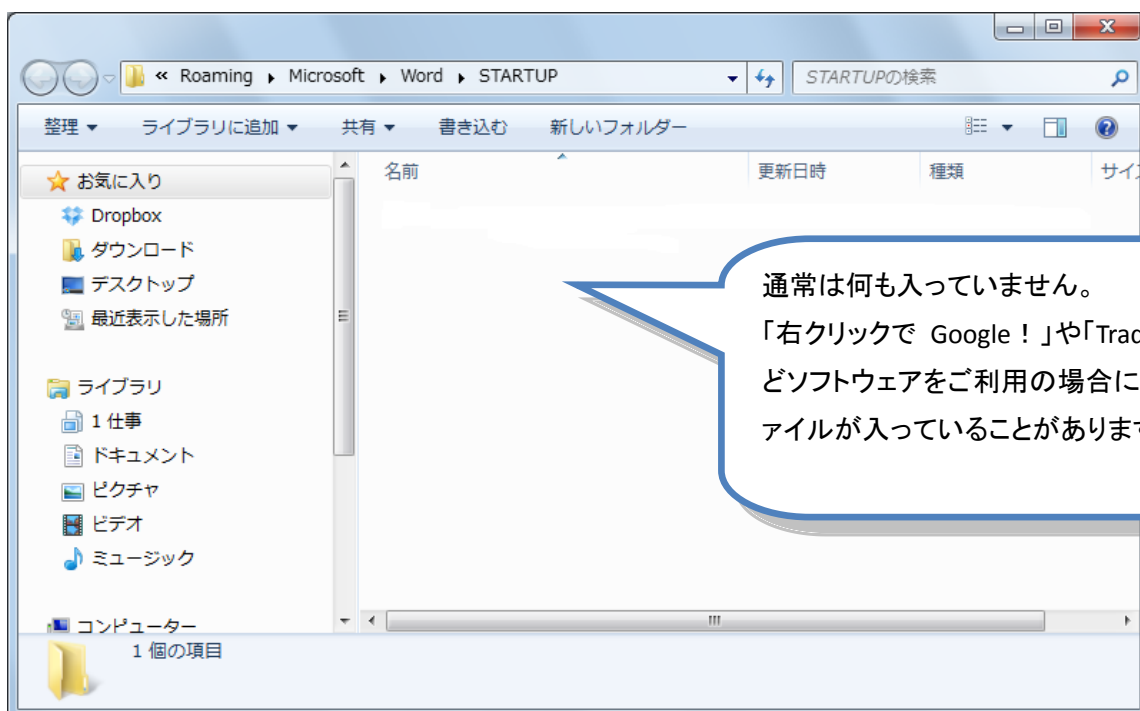
①Word を終了します。

②同封の「スタートアップフォルダを開く.vbs」をダブルクリックします。



スタートアップフォルダを開く.vbs

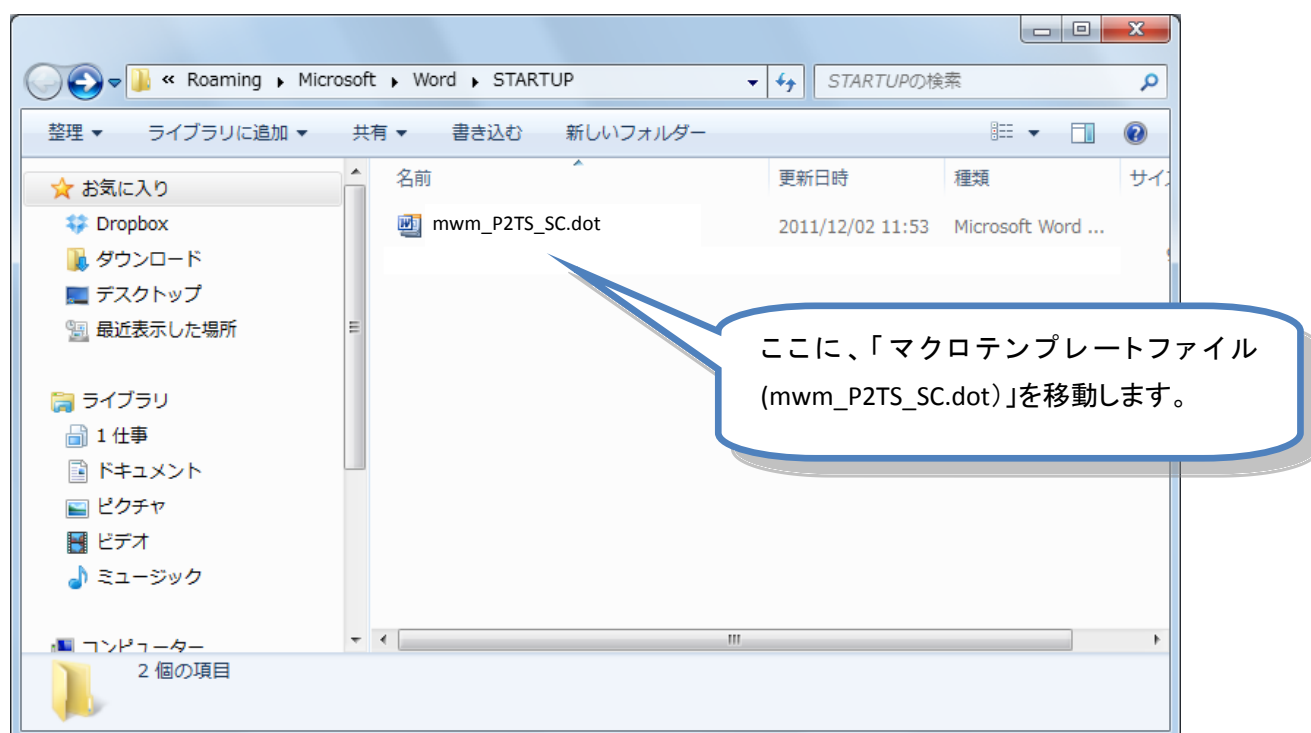
③スタートアップフォルダが開きます。なお、パソコンの性能によっては、スタートアップフォルダが開くまでにしばらく時間がかかることがありますので、ご注意ください。



スタートアップフォルダ (Windows 7 の場合)

④このスタートアップフォルダに、マクロテンプレートを移動します。

(※アンインストールする場合には、このスタートアップフォルダからマクロテンプレートを削除します。)



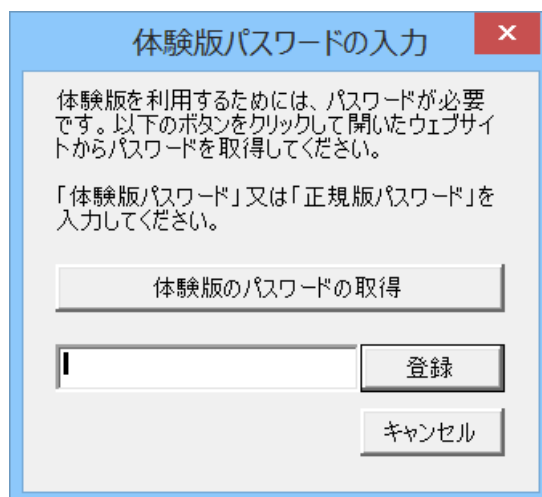
⑤Word 起動後に、ツールバー(または、[アドイン]タブ)に、以下のボタンが表示されれば、インストール成功です。

[上書翻訳] ?

ツールバーのボタン表示

動画解説(<http://goo.gl/Sdkwno>)

[上書き翻訳]ボタンをクリックすると、以下のように体験版登録のダイアログボックスが表示されます。



インストールに失敗したら。。。

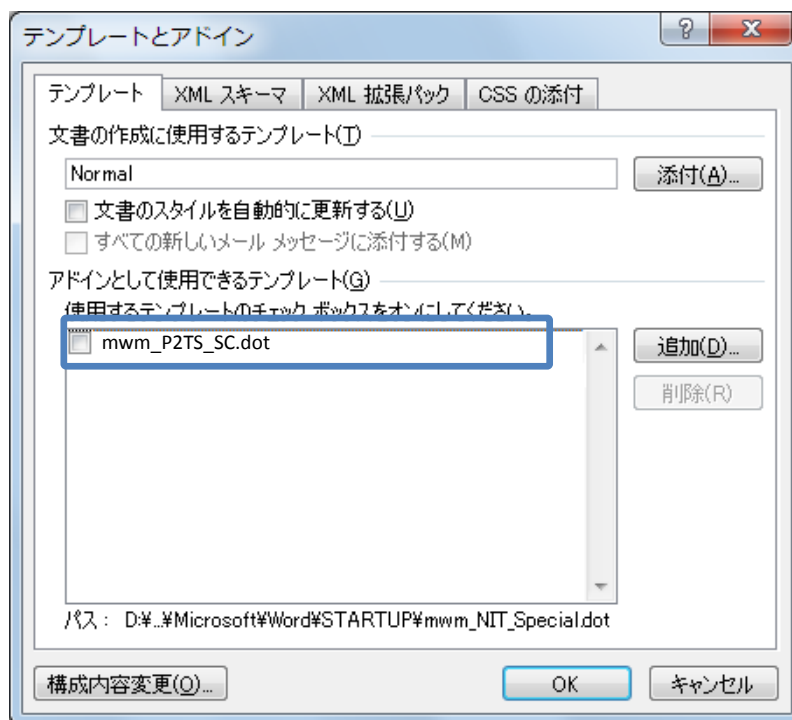
もし、ボタンが表示されていない場合には、以下の手順で表示させます。

キーボードで、以下の 3 つキーを **1 ずつ押します**。同時に押さないでください。

[Alt]、[T]、[I]

すると、「テンプレートとアドイン」ダイアログボックスが表示されます。「アドインとして使用できるテンプレート」欄にて、「蛍光と対策」のテンプレートである「mwm_P2TS_SC.dot」のチェックボックスをオンにします。

※:アドインを他にも利用されている方は、「アドインとして使用できるテンプレート」欄にいくつかのアドインが表示されています。



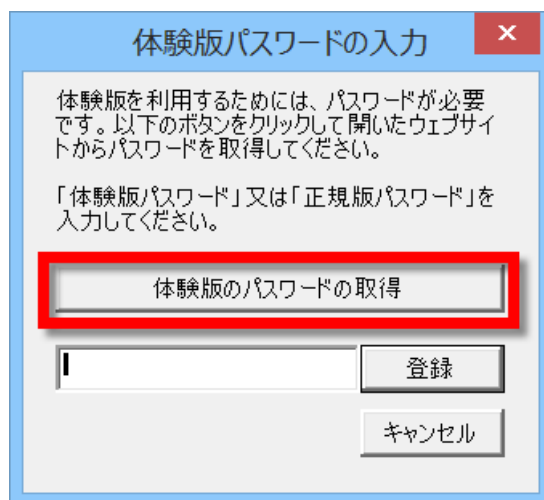
「テンプレートとアドイン」ダイアログボックスでの設定 (例として別のテンプレートを表示)

次回以降、Word を起動すると、自動的に「蛍光と対策」のアドインがオンになります。

動画解説 (<http://goo.gl/wzgksv>)

体験版ユーザー登録

「上書き翻訳ツール」の体験版を 30 日間ご利用いただけます。体験版に機能制限はありません。
以下のダイアログボックスが開くので、[体験版のパスワードの取得]ボタンをクリックしてください。



以下のサイトが開くので、メールアドレスをご入力ください。

「上書き翻訳ツール」体験版パスワード申請フォーム

ご登録いただいたメールアドレスにパスワードをご案内します。

＊は入力必須です。

メールアドレス ＊

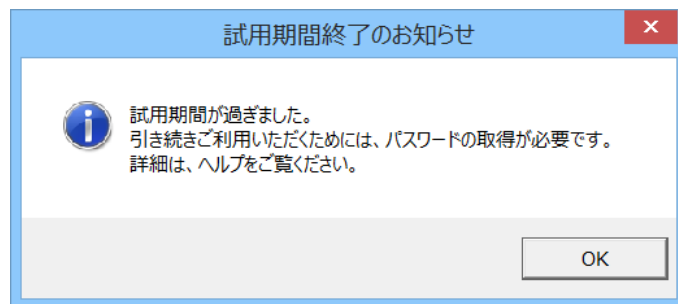
確認用

[内容確認画面へ](#)

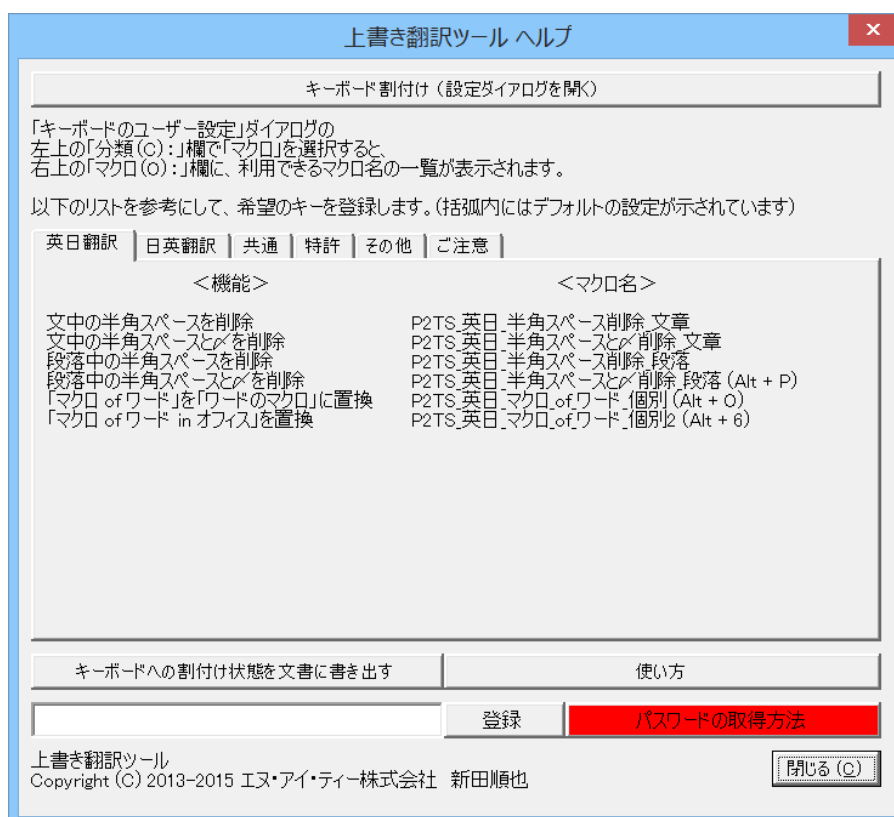
入力いただいたメールアドレスにパスワードをご案内します。今後、「上書き翻訳ツール」のバージョンアップやバグ修正をした場合に、登録いただいたメールアドレスにご案内いたします。また、お役に立つ Word マクロ情報もご案内いたします。メールでのご案内が不要な場合には、体験版パスワードのご案内メールに記載された方法にて、すぐに解除できます。

正規ユーザー登録

試用期間が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックするとヘルプダイアログボックスが表示されます。



赤く表示されたボタンをクリックすると、正規ユーザーの登録サイトが開きます。
(インターネットの接続が必要です。)

以下のサイトにて、必要事項をご入力いただきお申し込みください。

なお、本ツールの販売価格は予期なく変更されることがございます。あらかじめご了承ください。

「上書き翻訳ツール」正規ユーザーお申し込みフォーム

ユーザー1人につき、1ライセンス7,500円にて提供させていただきます。
ただし、一括置換ツール「ばらばら」の正規ユーザーのみなさまには、5,800円にて提供させていただきます。お申し出ください。

ばらばら (<http://www.para2translation.com/>)

個人でのご利用の場合には、自宅のデスクトップパソコン、ノートパソコン、職場のパソコンにインストールできます。

法人でのご利用の場合には、人数分のご購入が必要です。この場合、ご自宅で利用することはできません。

※は入力必須です。

お名前 ※ 姓 名

メールアドレス ※
 確認用

都道府県 ※

海外にお住まいの方は、仮のご住所を選択下さい。

ばらばらの利用 ※ ☐ 正規ユーザーである
☐ 正規ユーザーではない

入金方法 ※ ☐ 銀行振り込み (ジャパンネット銀行)
☐ クレジットカード (PayPal)

自由記入欄

内容確認画面へ

1. 辞書作り

上書き翻訳には置換に用いる用語が定義されている辞書ファイル（以降、「辞書」と呼ぶこともあります）が必要です。本ソフトウェアには辞書が同梱されていません。案件ごとに少しずつ用語集を作成していきましょう。

辞書に登録するもの

一般的な例

一義的に訳語が決まる専門用語を訳語とペアで登録します。用語集です。分野、顧客毎に辞書ファイルを用意すると便利だと思います。同梱されているサンプルをご覧ください。

テキストファイルや Word ファイルを辞書にする場合には、見出し語（原文中の単語）と訳語（訳文中の単語）を以下のようにタブで区切って記載します。

見出し語（Tab）訳語（改行）

Excel ファイルであれば、A 列に見出し語、B 列にその訳語を記載します。

区分	例	注意点
英日翻訳	vehicle(Tab)車両(改行)	英単語の直後に半角スペースをつけません。
日英翻訳	車両(Tab)vehicle_(改行)	英単語の直後に半角スペースをつけます。 左の例では下線で半角スペースを表示しました。

句点や読点も置換

区分	例	注意点
英日翻訳	._(Tab)。(改行) ._(Tab)。(改行) ._(Tab)、(改行)	区点の場合、ダブルスペースの場合、シングルスペースの場合があるので、両方登録しておくといと思います。
日英翻訳	。(Tab)。(改行) 、(Tab)。(改行)	シングルスペースの場合には、左記のようにピリオドの後にスペースを 1 つ入れます。ダブルスペースの場合には、ピリオドの後にスペースを 2 つ入れます。

ワイルドカードも活用

Word 用の正規表現であるワイルドカードを利用すれば、より高度な置換が可能になります。

区分	例	注意点
英日翻訳	([0-9]{1,})_cm(Tab)¥1cm	数字を全て全角に置換してから実行する辞書です
日英翻訳	([0-9]{1,})MPa(Tab)¥1_MPa	数字を全て半角に置換してから実行する辞書です

辞書（用語集）の作成支援

頻度のヒント：シェアウェア

ファイル内の頻出単語を抽出します。調べる単語のあたりをつけられます。

重要単語を抽出する機能もあります。

(<http://wordfreq.weebly.com>)

Description.

BACKGROUND OF THE

1. Field of the Invention

The present invention rela

2. Description of the Rel

Today, USB drives, also re

media such as floppy di

a USB connector for conn

configured for storing and

powering the processing c

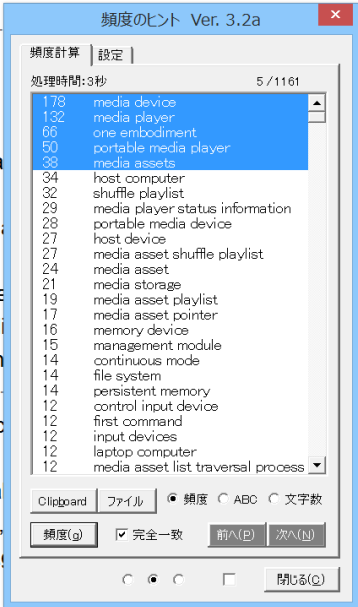
Portable media players, a

removable media storage,

media player has advanta

Those portable media players that store media in non-volatile memory are commonly referred to as Flash M

are often smaller than other types of portable media players. One problem common to many conventional



(英文引用：US7536565 約 1 万 8000 語)

OCR ソフト

専門書の索引に対応する英語が掲載されていたら、OCR ソフトで読み込みましょう。

信頼できる専門書であれば、そのまま辞書として利用できます。

ネットの辞書

専門用語解説のサイトがあります。

メーカーや業界団体のウェブサイトにも用語集が掲載されていることがあります。

信用できる情報源を活用します。

ヒント

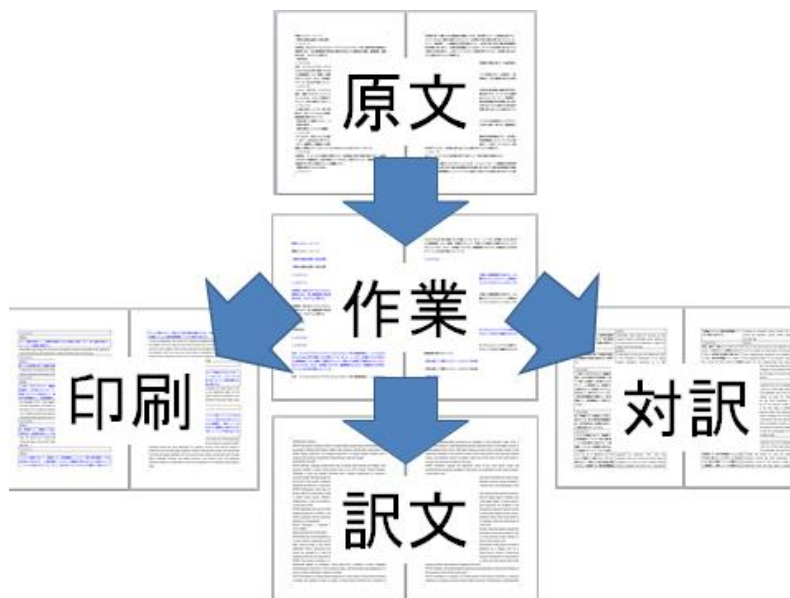
辞書の登録語数をむやみに増やす必要は全くありません。案件ごとに調べて自分で言葉を決めていくと、自分だけの信頼できる辞書ができあがり、技術分野の勉強にもなります。意味を知らない単語をネットでかき集めて 10 万語登録してもあまり意味がないと思います。その辞書を用いて置換されたファイルには、意味のわからない単語が列挙されているだけになりますから。これは危険だと思います。

2. ファイル作り

原文ファイルの準備

原文ファイルをしっかりと作り込んでおくと、翻訳作業も見直しも容易になります。

以下の図のように、原文ファイルが元になり、翻訳作業用ファイルや訳文ファイルが作られます。



ポイント1

OCR ソフトで PDF ファイルから原文のテキストデータを抽出する場合には、文字化けや不要な改行記号を極力削除しましょう。シェアウェアの「もっときれい！」(<http://ocrcleaner.weebly.com/>)が役に立ちます。

以下のように原文に混ざっている文字化けを特定します。

胆ノ 2. 甲又は乙は、本契約の内容変更が自己の責めに帰すべき事由によるものであり、その
計のため相手方に損害を与えたときは、違反した当事者は、損害を被った当事者
に対しその被った損害を賠償するものとする。

不要な文字列を削除すれば、原文はきれいになります。

2. 甲又は乙は、本契約の内容変更が自己の責めに帰すべき事由によるものであり、
そのため相手方に損害を与えたときは、違反した当事者は、損害を被った当事者
に対しその被った損害を賠償するものとする。

ポイント2

重要単語や頻出単語を、原文の一番最後に記載します。

訳語は翻訳中に変わることがあります。用語がどのように翻訳されたかを最後に確認できます。

本ソフトの対訳表作成機能を使えば、翻訳に用いた用語集を簡単に作成できます。

翻訳に用いられた用語集を翻訳後に作成する方法は、「翻訳後に用語集を作成」をご覧ください。

received, wherein the media player status information includes media play mode information effectively identifying one of a plurality of media play modes of the portable media player when the first command to power down the portable media player is received, wherein the plurality of media play modes includes at least a continuous play mode and a shuffle play mode.»

¶

¶

(頻出用語) ¶

media device¶

media player¶

one embodiment¶

portable media player¶

media assets¶

host computer¶

shuffle playlist¶

media player status information¶

portable media device¶

...¶

...¶

¶

(クレーム用語) ¶

portable media player¶

first command¶

media player status information¶

media play mode information¶

plurality of media play modes¶

continuous play mode¶

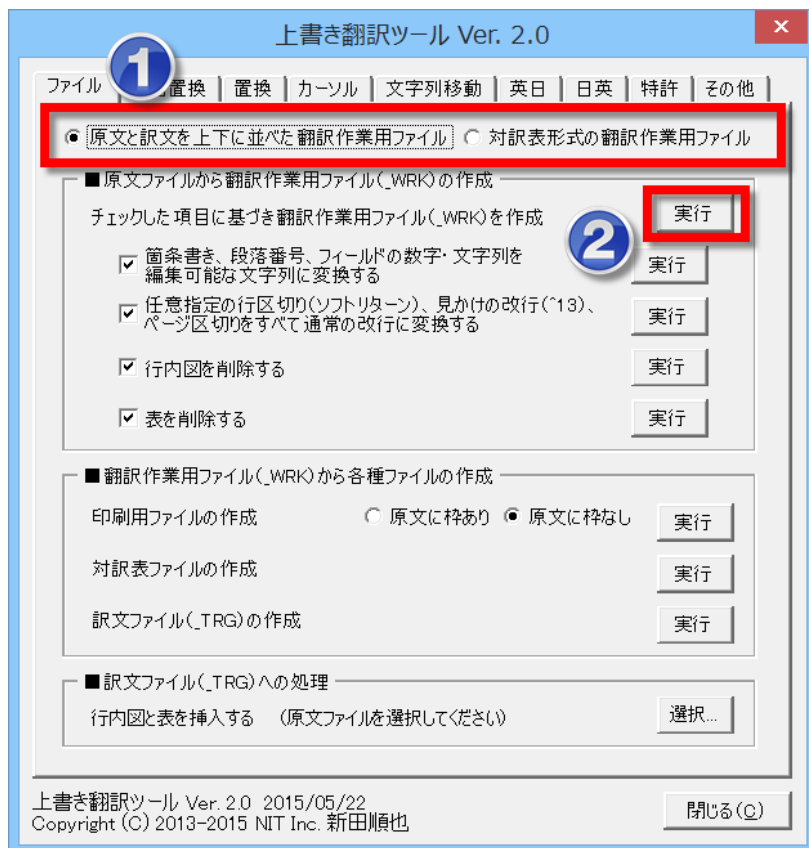
shuffle play mode¶

second command¶

原文ファイルから翻訳作業用ファイルの作成

特許翻訳や契約書など、段組やテキストボックスがないシンプルな書式の書類で使うと便利です。

[上書翻訳]ボタンをクリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。



現在開かれているファイル(原文ファイル)から、翻訳作業用ファイル(原文の段落が隠し文字で挿入されたファイル)を別のファイルで作成します。

ヒント

現在開かれているファイル(原文ファイル)が名前を付けて保存されている場合には、翻訳作業用ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。ファイル名は、原文ファイルの名前の最後に「_WRK」と追記されたものです。原文ファイルが保存されていない場合には、翻訳作業用ファイルも保存されません。

本文中の文字に対してのみ隠し文字が作成されます。テキストボックス内の文字やヘッダーやフッターなどの文字は、隠し文字になりません。

①上記の赤枠で囲まれたラジオボタンにて、翻訳作業用ファイルの種類を指定できます。翻訳のしやすさや好みに応じて使い分けてください。

②[実行]ボタンで翻訳作業用ファイルを作成します。違いを次ページで確認してください。

原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル

デフォルトの設定では、原文の表部分には、マーカー(【★☆☆表 1★☆☆】)が隠し文字として挿入されます。オプション設定にて、訳文の表もマーカーに置き換えることができます。

Windows Azure Comes to the Rescue

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and--by the way--the conference was just a month away!

This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.

My focus at Microsoft is to work with large businesses on solutions that are built on SQL Server and Windows Azure SQL Database, known as the Microsoft data platform. So I immediately gravitated toward the Platform as a Service (PaaS) capabilities of Windows Azure as the only way I could possibly meet marketing's requirements. By leveraging the ability of Windows Azure to quickly deliver a solution built on the Microsoft application platform (the Microsoft .NET Framework, SQL Server, and Windows Server), I could make this happen. With the Windows Azure PaaS model, Microsoft handles the infrastructure, power, servers, maintenance, patching, upgrades, and so on from worldwide Microsoft datacenters, making this a zero-footprint, zero-infrastructure option, which was perfect for my requirements.

Part of the agreement with marketing and with my manager was that I was only going to devote my spare time and weekends to this project. So I turned to already well-known technologies proven for quick time to production, which included Silverlight, Windows Communication Foundation (WCF) and SQL Server. In the end, I was able to deliver a solid solution that resulted in positive feedback and good results, using common Microsoft technologies and with no budget--and without a large time investment. I hope you'll gain some guidance and insights from the techniques I leveraged with Windows Azure, Windows Azure SQL Database and Windows Phone development, and minimal effort.

Windows Azure Comes to the Rescue

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and--by the way--the conference was just a month away!

【★☆☆表 1★☆☆】

This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.

対訳表形式の翻訳作業用ファイル

デフォルトの設定では、本文中に表がある場合以下のように表は削除され、表部分にマーカー(【★☆☆表 1★☆☆】)が挿入されます。表は翻訳を終えた後に自動挿入できます(「図の挿入」参照)。

Windows Azure Comes to the Rescue

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and--by the way--the conference was just a month away!

This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.

My focus at Microsoft is to work with large businesses on solutions that are built on SQL Server and Windows Azure SQL Database, known as the Microsoft data platform. So I immediately gravitated toward the Platform as a Service (PaaS) capabilities of Windows Azure as the only way I could possibly meet marketing's requirements. By leveraging the ability of Windows Azure to quickly deliver a solution built on the Microsoft application platform (the Microsoft .NET Framework, SQL Server, and Windows Server), I could make this happen. With the Windows Azure PaaS model, Microsoft handles the infrastructure, power, servers, maintenance, patching, upgrades, and so on from worldwide Microsoft datacenters, making this a zero-footprint, zero-infrastructure option, which was perfect for my requirements.

Part of the agreement with marketing and with my manager was that I was only going to devote my spare time and weekends to this project. So I turned to already well-known technologies proven for quick time to production, which included Silverlight, Windows Communication Foundation (WCF) and SQL Server. In the end, I was able to deliver a solid solution that resulted in positive feedback and good results, using common Microsoft technologies and with no budget--and without a large time investment. I hope you'll gain some guidance and insights from the techniques I leveraged with Windows Azure, Windows Azure SQL Database and Windows Phone development, and minimal effort.

Windows Azure Comes to the Rescue

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and--by the way--the conference was just a month away!

【★☆☆表 1★☆☆】

This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.
This is a pen.	This is a pen.

My focus at Microsoft is to work with large businesses on solutions that are built on SQL Server and Windows Azure SQL Database, known as the Microsoft data platform. So I immediately gravitated toward the Platform as a Service (PaaS) capabilities of Windows Azure as the only way I could possibly meet marketing's requirements. By leveraging the ability of Windows Azure to quickly deliver a solution built on the Microsoft application platform (the Microsoft .NET Framework, SQL Server, and Windows Server), I could make this happen. With the Windows Azure PaaS model, Microsoft handles the infrastructure, power, servers, maintenance, patching, upgrades, and so on from worldwide Microsoft datacenters, making this a zero-footprint, zero-infrastructure option, which was perfect for my requirements.

Part of the agreement with marketing and with my manager was that I was only going to devote my spare time and weekends to this project. So I turned to already well-known technologies proven for quick time to production, which included Silverlight, Windows Communication Foundation (WCF) and SQL Server. In the end, I was able to deliver a solid solution that resulted in positive feedback and good results, using common Microsoft technologies and with no budget--and without a large time investment. I hope you'll gain some guidance and insights from the techniques I leveraged with Windows Azure, Windows Azure SQL Database and Windows Phone development, and minimal effort.

翻訳作業用ファイル作成時のオプション設定

チェックボックス 4 つがデフォルトでオンになっています。

この 4 つのチェックボックスをオンにしたまま翻訳作業用ファイルを作成することをお勧めしますが、必要に応じてオン・オフに設定してください。また、チェック項目の右側にある[実行]ボタンにて個別に実行できます。

■ 原文ファイルから翻訳作業用ファイル(_WRK)の作成

チェックした項目に基づき翻訳作業用ファイル(_WRK)を作成

☒ 箇条書き、段落番号、フィールドの数字・文字列を編集可能な文字列に変換する 実行

☒ 任意指定の行区切り(ソフトリターン)、見かけの改行(^13)、ページ区切りをすべて通常の改行に変換する 実行

☒ 行内図を削除する 実行

☒ 表を削除する 実行

以下、オプション項目の説明です。

項目	解説
箇条書き、段落番号、フィールドの数字・文字列を編集可能な文字列に変換する	箇条書きなどの設定がある場合、翻訳作業ファイルを作成した場合に番号がずれて表示されるなど、不具合があります。 箇条書き等の設定がすべて解除されますのでご注意ください。
任意指定の行区切り(ソフトリターン)、見かけの改行(^13)、ページ区切りをすべて通常の改行に変換する	段落ごとに隠し文字を作ります。意図的にソフトリターンを入れている場合には、この項目をオフにしてください。
行内図を削除する	図が含まれているとファイルが重くなるので、図を削除します。 翻訳後に図を自動で挿入できますから問題ありません。
表を削除する	表が含まれているとファイルが重くなるので、表を削除します。 翻訳後に表を自動で挿入できますから問題ありません。 対訳表形式の翻訳作業用ファイルを作成する場合には、常にオンになります。

行内図を削除する

[行内図を削除する]をオンにすると、以下のように行内図部分にマーカーが挿入されます。

Windows Azure Web Apps⁴⁾

I'll start with the primary entry screen for the registration app, which is a C# .NET Web app hosting a Silverlight 5.0 XAML control, hosted in Windows Azure. Something that you'll find different when developing for Windows Azure instead of traditional .NET projects in Visual Studio is the framework for the hosting services in Windows Azure that will host WCF services and Web apps. There are custom classes in my C# class in my top-level namespace to handle converting data coming from Windows Azure SQL database to Silverlight properties. In the Web tier, you'll see the classic XML files (for example, crossdomain.xml) to allow cross-domain calls from the Web tier (that is, Silverlight) to a back-end data service. This Web app now becomes the primary role in my Windows Azure service because I selected it as the Web role in my project.⁴⁾

For this app, I utilized one of my favorite Silverlight controls from Windows Live labs (which is now a part of Silverlight 5.0) called the [PivotViewer control](#).⁴⁾

The [PivotViewer control](#) is generally applicable for application scenarios where you need to enable easy navigation and an interactive UI for large amounts of data that can be easily categorized, sorted and navigated by the end user (see [Figure 1](#)).⁴⁾

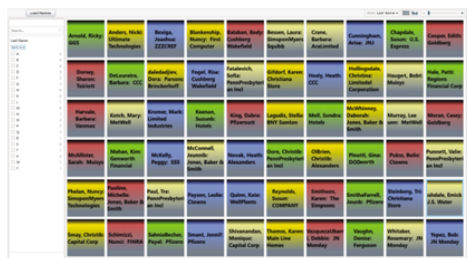


Figure 1 The [PivotViewer Control](#) Utilized as a Tile Interface for Registered Attendees⁴⁾

that you'll find different when developing for Windows Azure instead of traditional .NET projects in Visual Studio is the framework for the hosting services in Windows Azure that will host WCF services and Web apps. There are custom classes in my C# class in my top-level namespace to handle converting data coming from Windows Azure SQL database to Silverlight properties. In the Web tier, you'll see the classic XML files (for example, crossdomain.xml) to allow cross-domain calls from the Web tier (that is, Silverlight) to a back-end data service. This Web app now becomes the primary role in my Windows Azure service because I selected it as the Web role in my project.⁴⁾

For this app, I utilized one of my favorite Silverlight controls from Windows Live labs (which is now a part of Silverlight 5.0) called the [PivotViewer control](#).⁴⁾

For this app, I utilized one of my favorite Silverlight controls from Windows Live labs (which is now a part of Silverlight 5.0) called the [PivotViewer control](#).⁴⁾

The [PivotViewer control](#) is generally applicable for application scenarios where you need to enable easy navigation and an interactive UI for large amounts of data that can be easily categorized, sorted and navigated by the end user (see [Figure 1](#)).⁴⁾

The [PivotViewer control](#) is generally applicable for application scenarios where you need to enable easy navigation and an interactive UI for large amounts of data that can be easily categorized, sorted and navigated by the end user (see [Figure 1](#)).⁴⁾



表を削除する

[表を削除する]をオンにすると、以下のよう表部分にマーカーが挿入されます。

原文の表はこの設定に関わらず、常にマーカーで表示されます。

Windows Azure Comes to the Rescue⁴⁾

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and—by the way—the conference was just a month away!⁴⁾

This is a pen. ⁴⁾	This is a pen. ⁴⁾
This is a pen. ⁴⁾	This is a pen. ⁴⁾
This is a pen. ⁴⁾	This is a pen. ⁴⁾
This is a pen. ⁴⁾	This is a pen. ⁴⁾

My focus at Microsoft is to work with large businesses on solutions that are built on SQL Server and Windows Azure SQL Database, known as the Microsoft data platform. So I immediately gravitated toward the Platform as a Service (PaaS) capabilities of Windows Azure as the only way I could possibly meet marketing's requirements. By leveraging the ability of Windows Azure to quickly deliver a solution built on the Microsoft application platform (the Microsoft .NET Framework, SQL Server and Windows Server), I could make this happen. With the Windows Azure PaaS model, Microsoft handles the infrastructure, power, servers, maintenance, patching, upgrades and so on from worldwide Microsoft datacenters, making this a zero-footprint, zero-infrastructure option, which was perfect for my requirements.⁴⁾

Part of the agreement with marketing and with my manager was that I was only going to devote my spare time and weekends to this project. So I turned to already well-known technologies proven for quick time to production, which included Silverlight, Windows Communication Foundation (WCF) and SQL Server. In the end, I was able to deliver a solid solution that resulted in positive feedback and good results, using common Microsoft technologies and with no budget—and without a large time investment. I hope you'll gain some guidance and insights from the techniques I leveraged with Windows Azure, Windows Azure SQL Database and Windows Phone development, and minimal effort.⁴⁾

Windows Azure Comes to the Rescue⁴⁾

Windows Azure Comes to the Rescue⁴⁾

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and—by the way—the conference was just a month away!⁴⁾

Our marketing department in the Microsoft Mid-Atlantic District hosted an event last spring for about 90 Fortune 500 executives, Microsoft partners and Microsoft employees. They needed a registration system to highlight the latest and greatest Microsoft technologies and immerse attendees in the newest Microsoft experience. I had built successful solutions in my previous roles as a solution architect and consultant, so they turned to me in a pinch. This is because there wasn't yet any clear direction on what technologies to showcase, or how. Oh, and—by the way—the conference was just a month away!⁴⁾

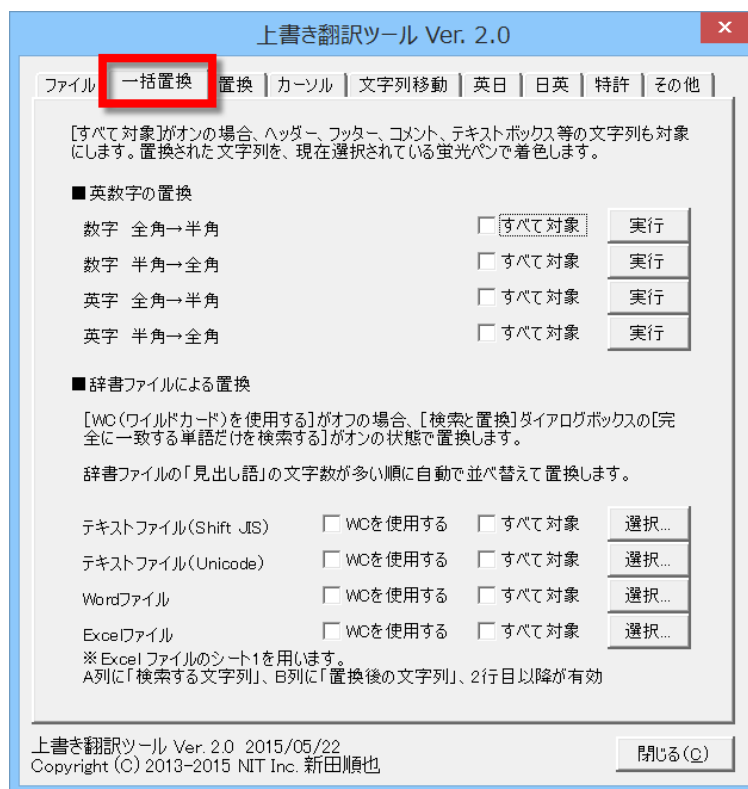
☆☆☆表 !☆☆☆⁴⁾

☆☆☆表 !☆☆☆⁴⁾

My focus at Microsoft is to work with large businesses on solutions that are built on SQL Server and Windows Azure SQL Database, known as the Microsoft data platform.

3. 一括置換

[一括置換]タブから2種類の一括置換を実行できます。



英数字の置換

英数字を半角、全角に一括で統一できます。

一般的に日英方向であれば、英字、数字ともに半角にします。

英日翻訳の場合には、クライアントの意向に沿い、英数字を半角か全角かを決めます。

以下の例では、英数字を半角にしました。置換箇所を「明るい緑」で着色してあります。以下の通り、隠し文字は置換しません。

【0029】

【0029】

こうして、ユーザにより操作入力部3が操作されて領域101a乃至101cのいずれかが押下されて選択されると、制御部1は、表示切替機能2bにより表示を切り替えることになる。より具体的には、例えば領域101aが選択されると画面戻し、領域101bが選択されると操作画面100の表示、領域101cが選択されると画面送りが実行される。但し、これには限定されない。各操作は各領域101a乃至101cに予め割り当てられた仕様により定まる。

こうして、ユーザにより操作入力部3が操作されて領域101a乃至101cのいずれかが押下されて選択されると、制御部1は、表示切替機能2bにより表示を切り替えることになる。より具体的には、例えば領域101aが選択されると画面戻し、領域101bが選択されると操作画面100の表示、領域101cが選択されると画面送りが実行される。但し、これには限定されない。各操作は各領域101a乃至101cに予め割り当てられた仕様により定まる。

辞書ファイルによる置換

辞書ファイルの種類に応じてボタンをクリックし、辞書ファイルを選択してください。

テキスト形式と Word 形式の辞書ファイルには、

見出し語（タブ）訳語（改行）

と記載してください。

ヒント

置換を実行するときには、「見出し語」の文字数が長いものから順番に置換されます。よって、辞書に置換する用語を登録する字場合、文字列の長さ順に並べる必要はありません。

原文を残して訳文のみを一括置換

以下の例では、サンプルの辞書ファイル「日英_一般名詞.txt」と「日英_主要単語帳.txt」とを用いて、「黄」の蛍光ペンを選択して置換しました。サンプルの辞書ファイルは Shift JIS 形式です。通常のテキストファイルは Shift JIS 形式です。アジア言語やヨーロッパの原語を扱う場合にフォントを正確に表示するために、Unicode 形式で保存することがあります。そのようなファイルを扱う場合には、Unicode 用の置換を実行してください。

テキストファイル(Shift JIS)	☐ WCを使用する	☐ すべて対象	選択...
テキストファイル(Unicode)	☐ WCを使用する	☐ すべて対象	選択...

また、「日英_特許_ワイルドカード.txt」を用いて、「25% 灰色」の蛍光ペンを選択して置換しました。ワイルドカードを使用する場合には、以下のようにチェックを入れてください。

テキストファイル(Shift JIS)	☒ WCを使用する	☐ すべて対象	選択...
---------------------	---	--------------------------------	-------

【0029】

[0029]

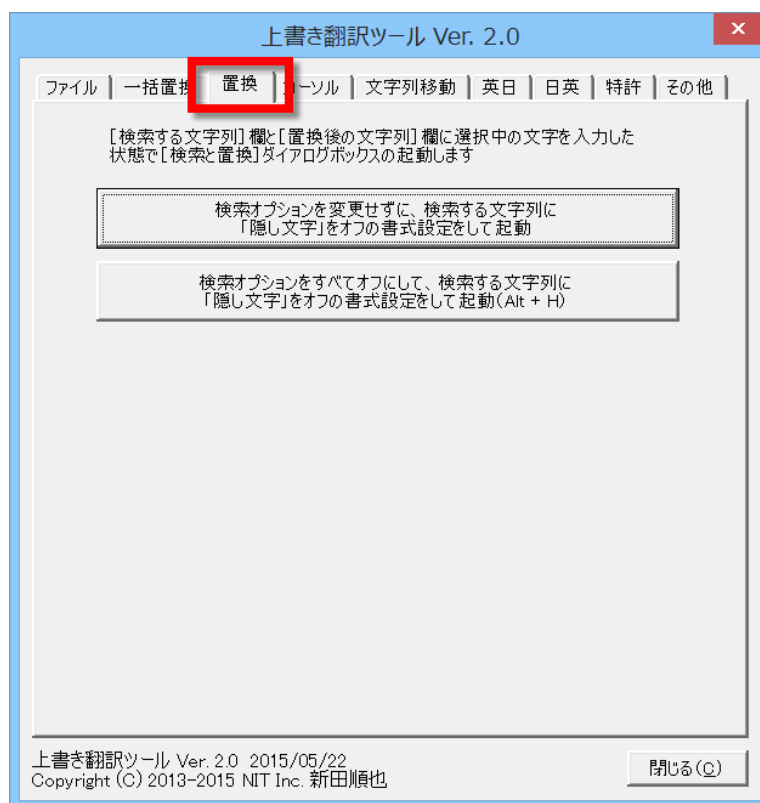
こうして、ユーザにより操作入力部3が操作されて領域101a乃至101cのいずれかが押下されて選択されると、制御部1は、表示切替機能2bにより表示を切り替えることになる。より具体的には、例えば領域101aが選択されると画面戻し、領域101bが選択されると操作画面100の表示、領域101cが選択されると画面送りが実行される。但し、これには限定されない。各操作は各領域101a乃至101cに予め割り当てられた仕様により定まる。

こうして、userによりoperation input unit3が操作されてarea 101a乃至101cのいずれかが押下されて選択されると、control unit1は、display changing function 2bにより表示を切り替えることになる。より具体的には、例えばarea 101aが選択されると画面戻し、area 101bが選択されるとoperation screen 100の表示、area 101cが選択されると画面送りが実行される。但し、これには限定されない。各操作は各area 101a乃至101cに予め割り当てられた仕様により定まる。

4. 並べ替え

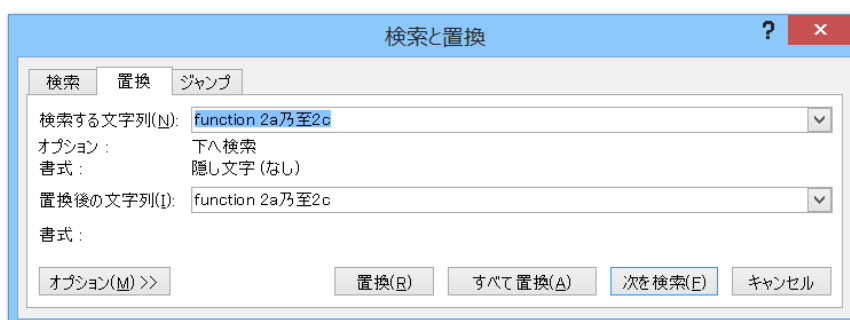
文字列の一括置換

[置換]タブに、[検索と置換]ダイアログボックスを活用するマクロを用意しました。



文字列を選択して以下のボタンをクリックすると、選択されている文字列が、[検索する文字列]欄と[置換後の文字列]欄に自動的に入力されます。

function 2a乃至**2c**を奏するとき、．．．．。



[Tab]キーを押してカーソルを[置換後の文字列]欄に移動させて文字列を修正すれば、素早く用語の置換ができます。

検索する文字列の書式が、隠し文字(なし)になります。よって、隠し文字は置換対象外となります。

ヒント

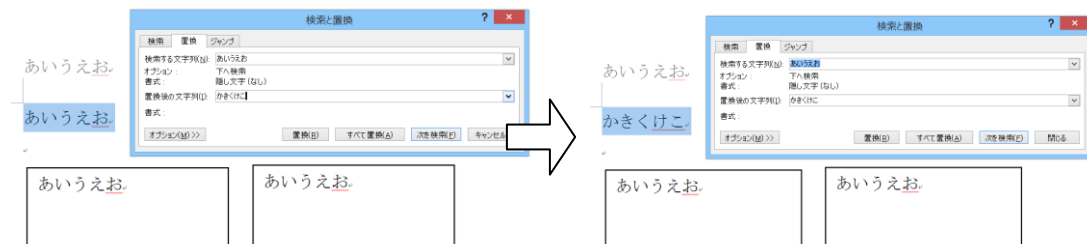
このマクロを実行した場合、[すべて置換]ボタンをクリックしても、置換対象となる文字列は、カーソルが置かれている部分に限定されます。たとえば、「メイン文書」と呼ばれる通常文章を書き込む部分にカーソルが置かれているときには、テキストボックスや、ヘッダー、フッターは置換されません。逆に、テキストボックスにカーソルがあるときには、カーソルが置かれているテキストボックス内の文字列だけが対象となり、メイン文書もヘッダーもフッターも置換対象外となります。ご注意ください。

※Wordでは、上記のような「メイン文書」、「テキストボックス」、「ヘッダー」などをストーリーと呼びます。このマクロではカーソルのあるストーリーのみを置換対象としてしまいます。

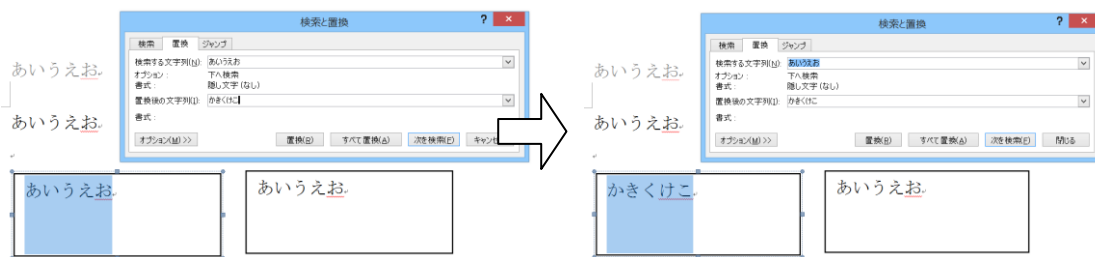
たとえば、以下のような状況を想定します。

メイン文書、ヘッダー、テキストボックス2つに「あいうえお」と記載があり、「あいうえお」を選択してこのマクロを実行します。置換後の文字列に「かきくけこ」と入力して置換しました。

(メイン文書を選択した場合)



(テキストボックスを選択した場合)



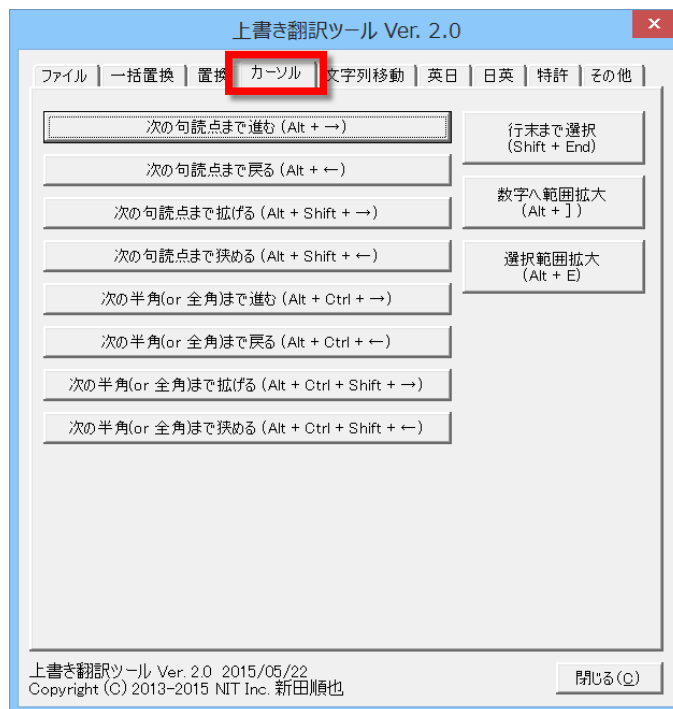
このように、選択されていたストーリーの文字しか置換されていません。ご注意ください。

カーソルを効率的に操る

[カーソル]タブに、カーソル移動に関するマクロを用意しました。

ショートカットキーに登録して頻繁に実行すると便利です。

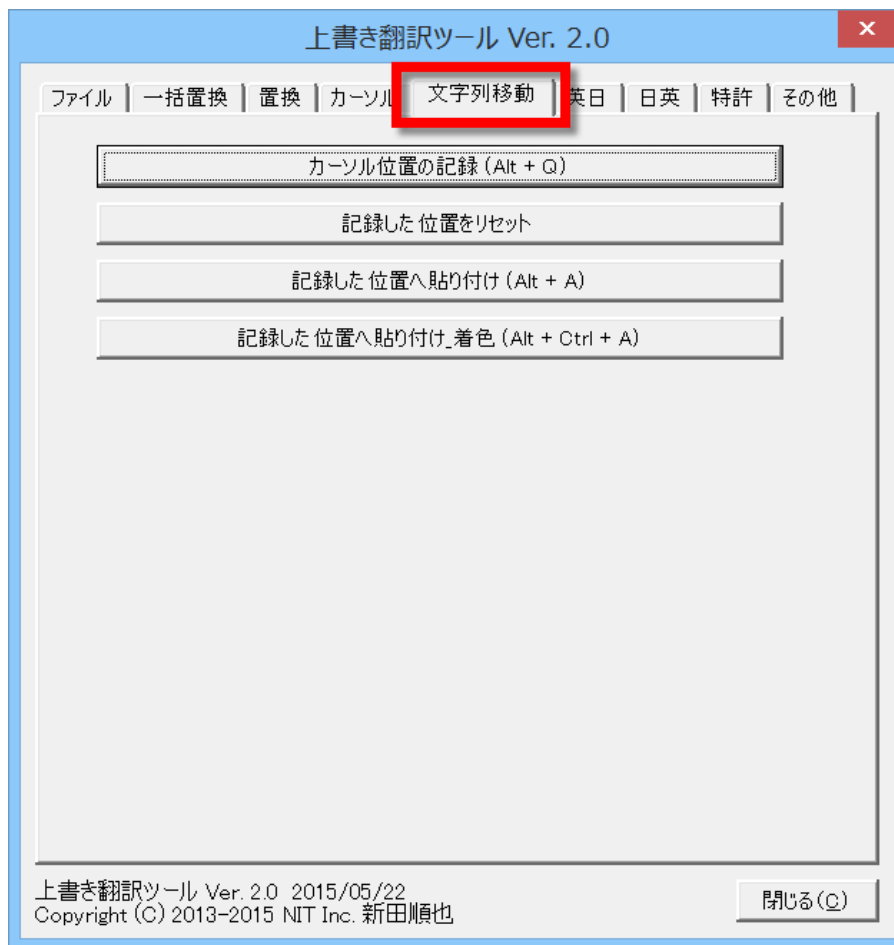
ボタンをクリックして、カーソルがどのように動くのかご確認ください。



＜機能＞	備考
次の半角(or 全角)まで進む	カーソル位置の文字列が半角か全角かを判定して、同じ種類の文字列にカーソルを移動させます。句読点は選択しません。 文字列が選択されていない場合には、移動方向(進む場合は右側)の最初の文字列の種類(半角か全角か)にあわせてます。 判定の癖になれると、自在にカーソルをジャンプさせることができます。お試しください。
数字へ範囲拡大	カーソル位置から書類の末尾に向かって選択範囲が拡大します。最初に記載される数字のところまで拡大します。英語も同様の動きになります。 (実行前) 撮像素子12は、この タイミングジェネレータ22から供給されるタイミング信号に基づいて動作することにより、 (実行後) 撮像素子12は、このタイミングジェネレータ22から供給されるタイミング信号に基づいて動作することにより、

<機能>	備考
選択範囲拡大	カーソル位置の文字列の種類に応じて、同じ種類の文字列で選択範囲を前後に拡大します。 半角英数字の場合、それ以外の場合で区分します。例えば、以下のように半角英数字にカーソルがあるときに実行すると、半角英数字に選択範囲が拡大します。様々な場所にカーソルを置いて挙動をお試しください。 123,456,7890 abc) → 123,456,7890abc) 

文字列を自在に移動する



＜機能＞	備考
カーソル位置の記録	間違っって押してしまうと、このカーソル位置が Word を立ち上げている間はずっと保持されてしまいますので、ご注意ください。
記録した位置をリセット	[カーソル位置の記録]で記録した位置をリセットします。 これを実行した後に、[記録した位置へ貼り付け]や[記録した位置へ貼り付け_着色]を実行しても文字列は移動しません。
記録した位置へ貼り付け	[カーソル位置の記録]でカーソル位置が記録されている場合には、このへカーソルを移動します。文字列が選択されている場合には、選択されている文字列も一緒に移動させます。 文字列の移動後は、文字列が選択された状態になります。
記録した位置へ貼り付け_着色	[記録した位置へ貼り付け]と同じように文字列が移動します。 さらに、元の文字列を灰色にして残像を残します。

1. カーソル位置を記録します

図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

FIG. 1 illustrates a configuration of an には the present invention の first embodiment に係る image display apparatus の構成を示し説明する。

an の後ろの位置を記録

2. 移動させる文字列を選択します。

図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

FIG. 1 illustrates a configuration of an には the present invention の first embodiment に係る image display apparatus の構成を示し説明する。

選択されています

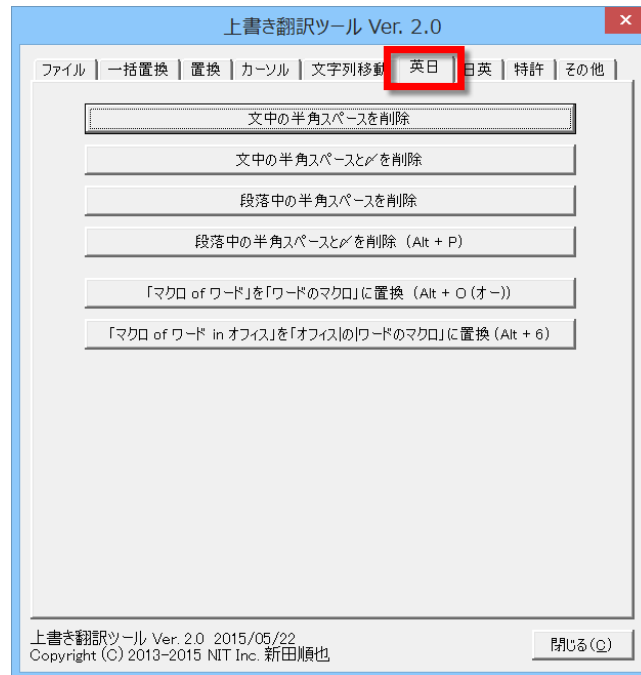
3. 移動します。[記録した位置へ貼り付け_着色]の場合、元の文字列を灰色にして残します。

図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

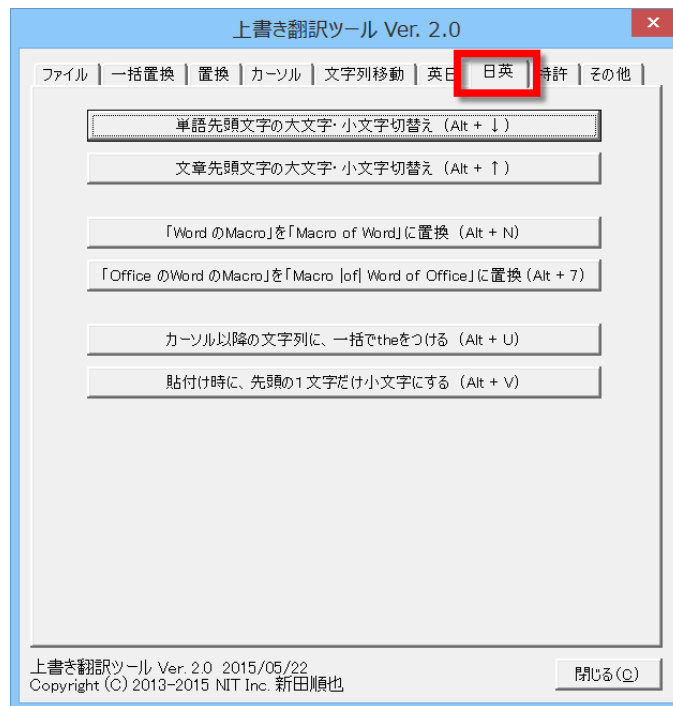
FIG. 1 illustrates a configuration of an image display apparatus には the present invention の first embodiment に係る image display apparatus の構成を示し説明する。

元の文字列の残像が残ります

記録した位置に移動



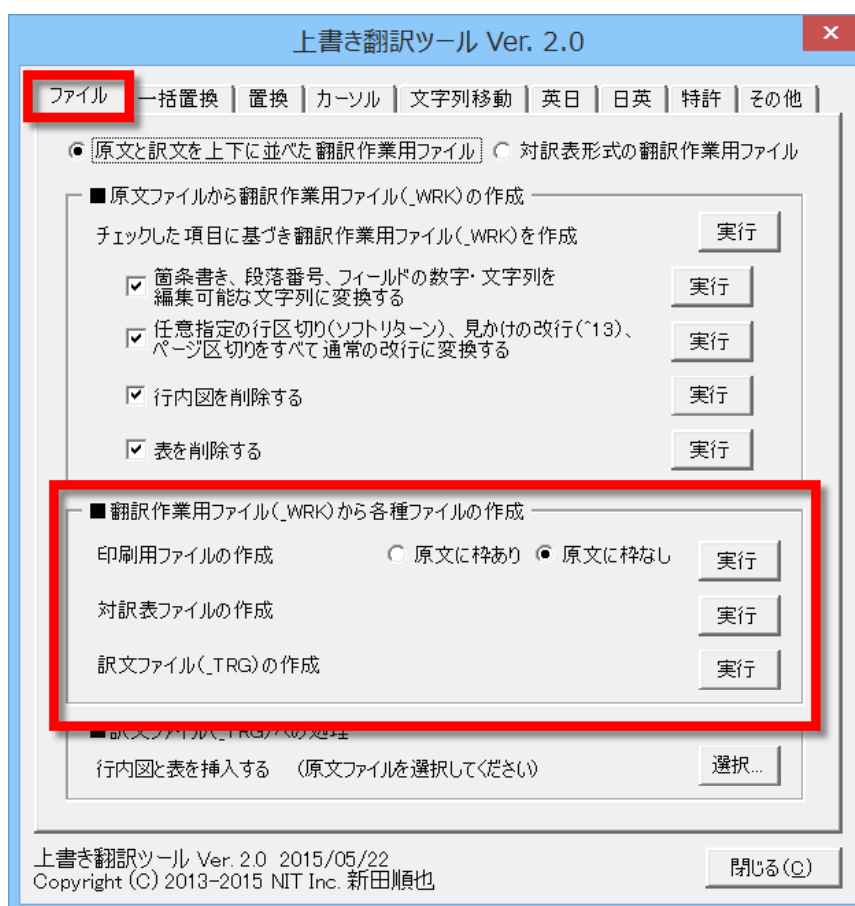
＜機能＞	備考
文中の半角スペースを削除	カーソルが置かれている文章内の半角スペース()を削除します。 (実行前) これは あなたの ペン です か？いいえ、それは マイクの ペン です。 (実行後) これはあなたのペンです か？いいえ、それは マイクの ペン です。
段落中の半角スペースを削除	カーソルが置かれている段落内の半角スペース()を削除します。 (実行前) これは あなたの ペン です か？いいえ、それは マイクの ペン です。 (実行後) これはあなたのペンです か？いいえ、それはマイクのペンです。
「マクロ of ワード」を 「ワードのマクロ」に置換	<u>前置詞で区切られる2つの文字列</u>を選択した状態で実行すると、選択範囲内の「for, of, in」を「の」に変換し、文字列の順序を入れ替えます。 例： 街 for 東京 → 東京の街 街 of 東京 → 東京の街 街 in 東京 → 東京の街
「マクロ of ワード in オフィス」を 「オフィス のワードのマクロ」に置換	<u>前置詞で区切られる2つ以上の文字列</u>を選択した状態で実行します。 according to, relative to, toward, to, of, in, for, at, on, with を「の」に変換して文字列の順序を入れ替え、最初の「の」を選択します。 マクロ of ワード in オフィス → オフィスのワードのマクロ



<機能>	備考
「Word の Macro」を 「Macro of the Word」に 置換	助詞で区切られる 2 つの文字列を選択した状態で実行すると、選択範囲内の「の」を「of」に変換し、文字列の順序を入れ替えます。 例： Word の Macro → Macro of Word
「Office の Word の Macro」を 「Macro of Word of Office」に 置換	助詞で区切られる 2 つ以上の文字列を選択した状態で実行します。 からなる、からの、ないの、内の、から、での、で、の、を を、「of」に変換して文字列の順序を入れ替え、最初の「of」を選択します。 Office の Word の Macro → Macro of Word of Office
カーソル以降の文字列に、 一括で the をつける (特に、特許翻訳用)	全体の制御を司る control unit 1 と operation input unit 3、storage unit 4、display unit 5 からなる。そして、この control unit 1 は、storage unit 4 に予め格納されている control program 2 を読み出して…。 control unit 1 を選択して実行します。 全体の制御を司る control unit 1 と operation input unit 3、storage unit 4、display unit 5 からなる。そして、この the control unit 1 は、storage unit 4 に予め格納されている control program 2 を読み出して…。 選択範囲以降の「control unit 1」に the が追記されます。また、選択が解除されます。「control unit 100」など、類似の符号がふられている場合には、the がつきません。

5. ファイル管理

[ファイル] タグの機能を用いて、翻訳後のチェック用の印刷用ファイルや訳文ファイルを作成します。



翻訳作業用ファイルから印刷用ファイルの作成

翻訳作業用ファイルには原文が「隠し文字」で記載されています。隠し文字は通常の Word の設定では印刷ができません。そのため、原文の印刷が可能なファイルを自動で作成します。

好みに応じて 3 種類のファイルを作成できます。

原文と訳文が上下に並んだ印刷用ファイル（原文に枠あり）

☒ 原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル ☐ 対訳表形式の翻訳作業用ファイル

■ 翻訳作業用ファイル（_WRK）から各種ファイルの作成

印刷用ファイルの作成

☒ 原文に枠あり

☐ 原文に枠なし

実行

翻訳作業が終わった翻訳作業用ファイルの例

[0023]

以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。

Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.

[0024]

図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.

[0025]

この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。

[0023]

以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。

Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.

[0024]

図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.

[0025]

この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。

原文と訳文が上下に並んだ印刷用ファイル（原文に枠なし）

☒ 原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル ☐ 対訳表形式の翻訳作業用ファイル

■ 翻訳作業用ファイル（_WRK）から各種ファイルの作成

印刷用ファイルの作成

☐ 原文に枠あり

☒ 原文に枠なし

実行

翻訳作業が終わった翻訳作業用ファイルの例

[0023]

以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。

Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.

[0024]

図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.

[0025]

この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。

[0023]

以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。

Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.

[0024]

図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。

A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.

[0025]

この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。

対訳表形式の印刷用ファイル

☐ 原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル ☒ 対訳表形式の翻訳作業用ファイル

■ 翻訳作業用ファイル(WRK)から各種ファイルの作成

印刷用ファイルの作成

☐ 原文に枠あり

☐ 原文に枠なし

実行

対訳表形式の翻訳作業用ファイルから印刷用ファイルを作成します。

翻訳作業が終わった翻訳作業用ファイルの例

【0023】 以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。	[0023] Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.	【0023】 以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。	[0023] Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.
【0024】 図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。	[0024] A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.	【0024】 図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。	[0024] A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.
【0025】 この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。	[0025] As illustrated in FIG. 1, the image display apparatus includes a control unit 1 that controls the entire apparatus, an operation input unit 3, a storage unit 4, and a display unit 5. Also, the control unit 1 reads and executes a control program 2 stored in advance in the storage unit 4, thereby performing at least an operation manual screen display function 2a, a display	【0025】 この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。	[0025] As illustrated in FIG. 1, the image display apparatus includes a control unit 1 that controls the entire apparatus, an operation input unit 3, a storage unit 4, and a display unit 5. Also, the control unit 1 reads and executes a control program 2 stored in advance in the storage unit 4, thereby performing at least an operation manual screen display function 2a, a display

隠し文字が通常の文字列に変換されます。

翻訳作業用ファイルから対訳表ファイルの作成

☒ 原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル ☐ 対訳表形式の翻訳作業用ファイル

■ 翻訳作業用ファイル(WRK)から各種ファイルの作成

印刷用ファイルの作成

☐ 原文に枠あり

☒ 原文に枠なし

実行

対訳表ファイルの作成

実行

原文と訳文が上下に並んだ翻訳作業用ファイルから対訳表ファイルを作成できます。

翻訳作業用ファイル(WRK ファイル)を開いた状態でこのボタンをクリックすると、左側に原文、右側に訳文となる 2 列の対訳表を作成します。

翻訳作業が終わった翻訳作業用ファイルの例

【0023】 [0023] 以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。 Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings. 【0024】 [0024] 図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。 A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention. 【0025】 [0025] この図 1 に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部 1 と操作入力部 3、記憶部 4、表示部 5 からなる。そして、この制御部 1 は、記憶部 4 に予め格納されている制御プログラム 2 を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能 2a、表示切替機能 2b、主制御機能 2c を奏することになる。	<table> <tr> <td>【0023】</td><td>[0023]</td></tr> <tr> <td>以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。</td><td>Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.</td></tr> <tr> <td>【0024】</td><td>[0024]</td></tr> <tr> <td>図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。</td><td>A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.</td></tr> <tr> <td>この図 1 に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部 1 と操作入力部 3、記憶部 4、表示部 5 からなる。そして、この制御部 1 は、記憶部 4 に予め格納されている制御プログラム 2 を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能 2a、表示切替機能 2b、主制御機能 2c を奏することになる。</td><td>[0025]</td></tr> <tr> <td>【0026】</td><td>[0026]</td></tr> <tr> <td>尚、制御部 1 が、各機能 2a 乃至 2c を</td><td>Also, the control unit 1 plays roles of operation</td></tr> </table>	【0023】	[0023]	以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。	Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.	【0024】	[0024]	図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。	A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.	この図 1 に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部 1 と操作入力部 3、記憶部 4、表示部 5 からなる。そして、この制御部 1 は、記憶部 4 に予め格納されている制御プログラム 2 を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能 2a、表示切替機能 2b、主制御機能 2c を奏することになる。	[0025]	【0026】	[0026]	尚、制御部 1 が、各機能 2a 乃至 2c を	Also, the control unit 1 plays roles of operation
【0023】	[0023]														
以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。	Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.														
【0024】	[0024]														
図 1 には本発明の第 1 の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。	A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.														
この図 1 に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部 1 と操作入力部 3、記憶部 4、表示部 5 からなる。そして、この制御部 1 は、記憶部 4 に予め格納されている制御プログラム 2 を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能 2a、表示切替機能 2b、主制御機能 2c を奏することになる。	[0025]														
【0026】	[0026]														
尚、制御部 1 が、各機能 2a 乃至 2c を	Also, the control unit 1 plays roles of operation														

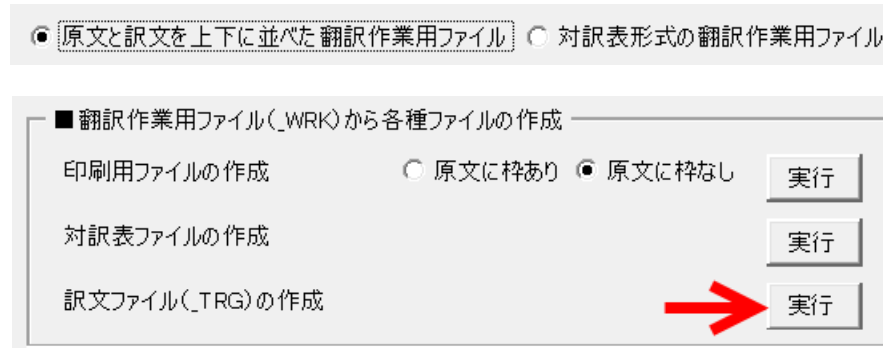
ヒント

翻訳作業ファイル (WRK ファイル) 中の表は、対訳表ファイルに記載されませんので、ご了承ください。

翻訳作業用ファイルから訳文ファイルの作成

「原文と訳文が上下に並んだ翻訳作業用ファイル」と「対訳表形式の翻訳作業用ファイル」の両方から、訳文ファイルを作成します。

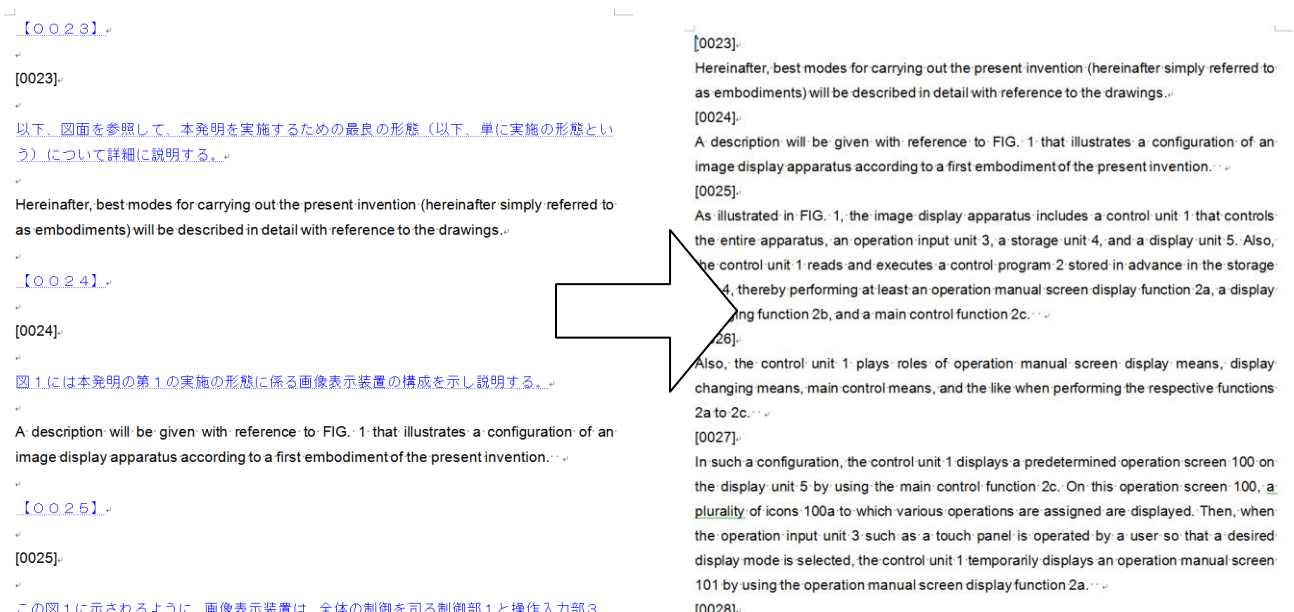
原文と訳文が上下に並んだ翻訳作業用ファイル



翻訳作業用ファイル(WRK ファイル)を開いた状態でボタンをクリックすると、訳文ファイルが生成されます。

現在開かれているファイル(WRK ファイル)が保存されている場合には訳文ファイルが現在開かれているファイルと同じフォルダに保存されます。

ファイル名は、現在開かれているファイルの名前の最後に「_TRG」と追記されたものです。現在開かれているファイルが保存されていない場合には、訳文ファイルも保存されません。



対訳表形式の翻訳作業用ファイル

☐ 原文と訳文を上下に並べた翻訳作業用ファイル ☒ 対訳表形式の翻訳作業用ファイル

■ 翻訳作業用ファイル(WRK)から各種ファイルの作成

印刷用ファイルの作成 ☐ 原文に枠あり ☒ 原文に枠なし

対訳表ファイルの作成

訳文ファイル(TRG)の作成 

翻訳作業用ファイル(WRK ファイル)を開いた状態でボタンをクリックすると、訳文ファイルが生成されます。

現在開かれているファイル(WRK ファイル)が保存されている場合には訳文ファイルが現在開かれているファイルと同じフォルダに保存されます。

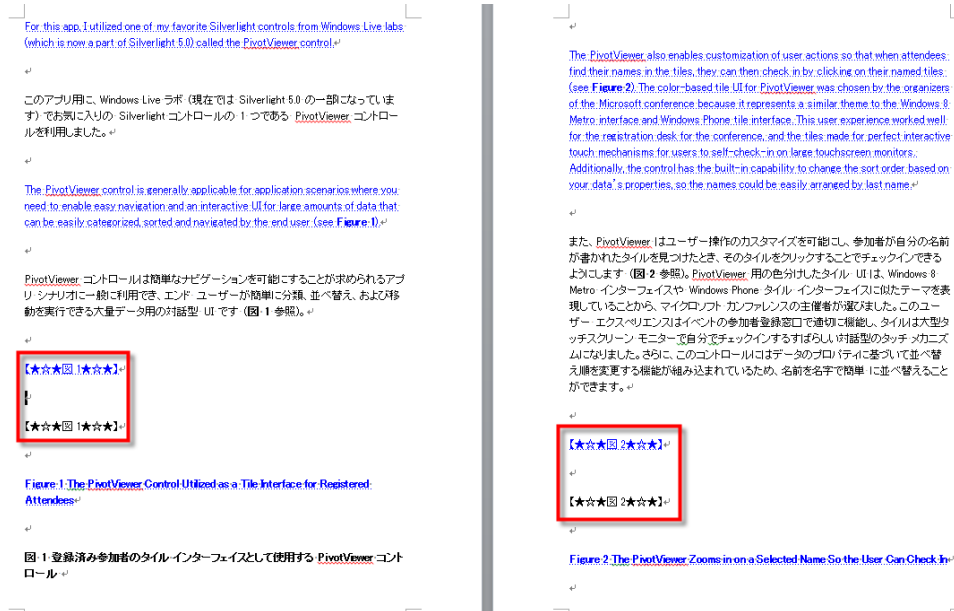
ファイル名は、現在開かれているファイルの名前の最後に「_TRG」と追記されたものです。現在開かれているファイルが保存されていない場合には、訳文ファイルも保存されません。

【0023】 以下、図面を参照して、本発明を実施するための最良の形態（以下、単に実施の形態という）について詳細に説明する。	[0023] Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.	[0023] Hereinafter, best modes for carrying out the present invention (hereinafter simply referred to as embodiments) will be described in detail with reference to the drawings.
【0024】 図1には本発明の第1の実施の形態に係る画像表示装置の構成を示し説明する。	[0024] A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.	[0024] A description will be given with reference to FIG. 1 that illustrates a configuration of an image display apparatus according to a first embodiment of the present invention.
【0025】 この図1に示されるように、画像表示装置は、全体の制御を司る制御部1と操作入力部3、記憶部4、表示部5からなる。そして、この制御部1は、記憶部4に予め格納されている制御プログラム2を読み出して、実行することで、少なくとも操作説明画面表示機能2a、表示切替機能2b、主制御機能2cを奏することになる。	[0025] As illustrated in FIG. 1, the image display apparatus includes a control unit 1 that controls the entire apparatus, an operation input unit 3, a storage unit 4, and a display unit 5. Also, the control unit 1 reads and executes a control program 2 stored in advance in the storage unit 4, thereby performing at least an operation manual screen display function 2a, a display switching function 2b, and a main control function 2c.	[0025] Also, the control unit 1 plays roles of operation manual screen display means, display switching means, main control means, and the like when performing the respective functions 2a to 2c.
	[0027] In such a configuration, the control unit 1 displays a predetermined operation screen 100 on the display unit 5 by using the main control function 2c. On this operation screen 100, a plurality of icons 100a to which various operations are assigned are displayed. Then, when the operation input unit 3 such as a touch panel is operated by a user so that a desired display mode is selected, the control unit 1 temporarily displays an operation manual screen 101 by using the operation manual screen display function 2a.	[0027] In such a configuration, the control unit 1 displays a predetermined operation screen 100 on the display unit 5 by using the main control function 2c. On this operation screen 100, a plurality of icons 100a to which various operations are assigned are displayed. Then, when the operation input unit 3 such as a touch panel is operated by a user so that a desired display mode is selected, the control unit 1 temporarily displays an operation manual screen 101 by using the operation manual screen display function 2a.

図の挿入

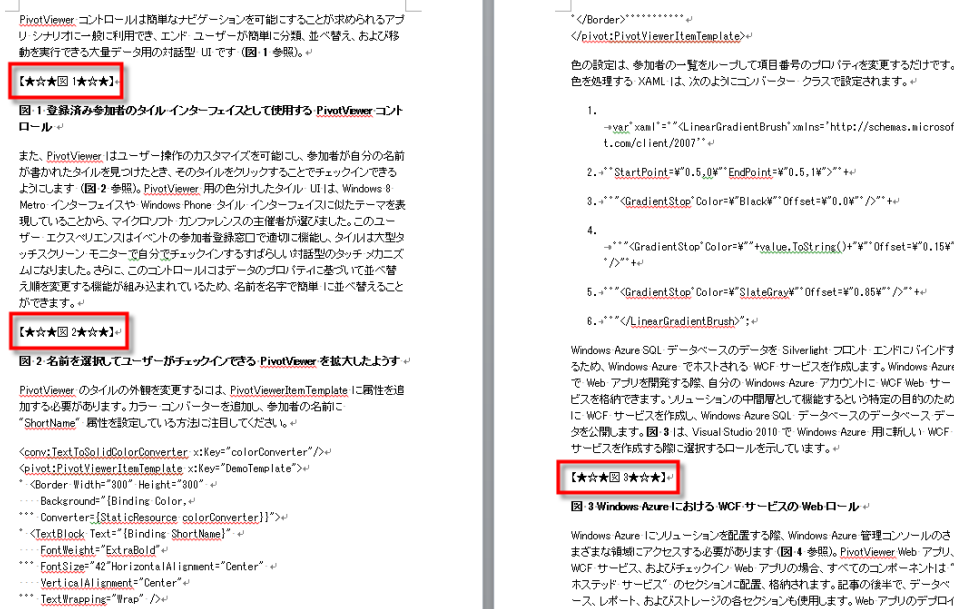
図や表にマーカー(【★☆☆図 1★☆☆】、【★☆☆表 1★☆☆】)が挿入された翻訳作業用ファイルから訳文ファイルを作成した場合、この訳文のマーカーに元の図と表を挿入し直します。

翻訳作業用ファイル例



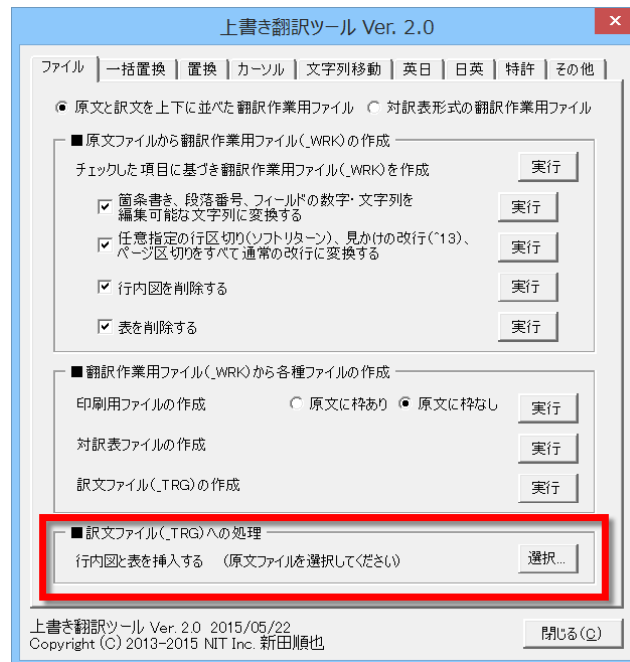
訳文ファイル例

上記のファイルから訳文ファイルを作成しました。訳文ファイル中にマーカーが記載されています。



図を挿入します

訳文ファイルを表示した状態で、ダイアログボックスの以下のボタンをクリックして「原文ファイル」を選択します。

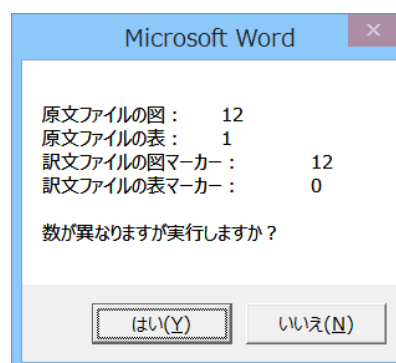


すると、原文ファイル内の行内図と表の数と、訳文ファイル内の図マーカー(【★☆☆図 1★☆☆】)と表マーカー(【★☆☆表 1★☆☆】)の数を比較して表示します。

今回、訳文ファイルには表が表示されていますので、表マーカーはありません。

ヒント

表が表マーカーになるのは、原文と訳文を上下に並べた翻訳作業ファイルの作成時に「表を削除する」のチェックをオンにした場合と、対訳表形式の翻訳作業ファイルを作成する場合です。



[はい]ボタンをクリックすると、訳文ファイルの図マーカーと表マーカーの位置に、原文ファイルの図表が挿入されます。

PivotViewer コントロールは簡単なナビゲーションを可能にすることが求められるアプリケーションシナリオに一般に利用でき、エンド ユーザーが簡単に分類、並べ替え、および移動を実行できる大量データ用の対話型 UI です (図 1 参照)。



図 1 登録済み参加者のタイル インターフェイスとして使用する PivotViewer コントロール

また、PivotViewer はユーザー操作のカスタマイズを可能にし、参加者が自分の名前が書かれたタイルを見つけたとき、そのタイルをクリックすることでチェックインできるようになります (図 2 参照)。PivotViewer 用の色分けしたタイル UI は、Windows 8 Metro インターフェイスや Windows Phone タイル インターフェイスに似たテーマを表現していることから、マイクロソフト カンファレンスの主催者が選びました。このユーザー エクスペリエンスイベントの参加者登録窓口で適切に機能し、タイルは大型タッチスクリーン モニターで自分でチェックインするすばらしい対話型のタッチメカニズムになりました。さらに、このコントロールはデータのプロパティに基づいて並べ替え順を変更する機能が組み込まれているため、名前を名字で簡単に並べ替えることができます。

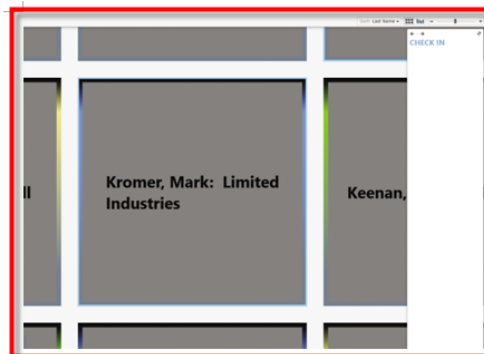


図 2 名前を選択してユーザーがチェックインできる PivotViewer を拡大したようす

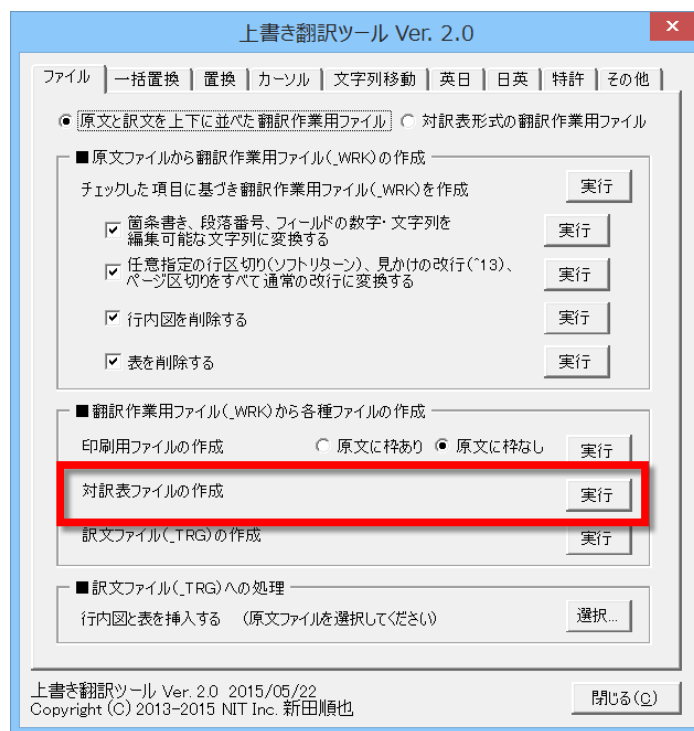
PivotViewer のタイルの外観を変更するには、PivotViewerItemTemplate に属性を追加する必要があります。カラー コンバーターを追加し、参加者の名前に "ShortName" 属性を設定している方法に注目してください。

```
<conv:TextToSolidColorConverter x:Key="colorConverter"/>
<pivot:PivotViewerItemTemplate x:Key="DemoTemplate">
  * <Border Width="300" Height="300" />
  * Background="{Binding Color,
  *** Converter:{StaticResource colorConverter}}"/>
  * <TextBlock Text="{Binding ShortName}" />
  * FontSize="42" HorizontalAlignment="Center" />
  * VerticalAlignment="Center" />
  * TextWrapping="Wrap" />
  * </Border>
</pivot:PivotViewerItemTemplate>
```

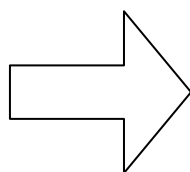
翻訳後に用語集を作成する方法

翻訳中に、用語を変更することがあります。

「原文ファイルの準備」で作成した、文書の末尾に記載されている用語リストも翻訳時に同時に置換しておけば、最終的な訳語が残ります。このリストから、以下のボタンをクリックして対訳ファイルを作成します。

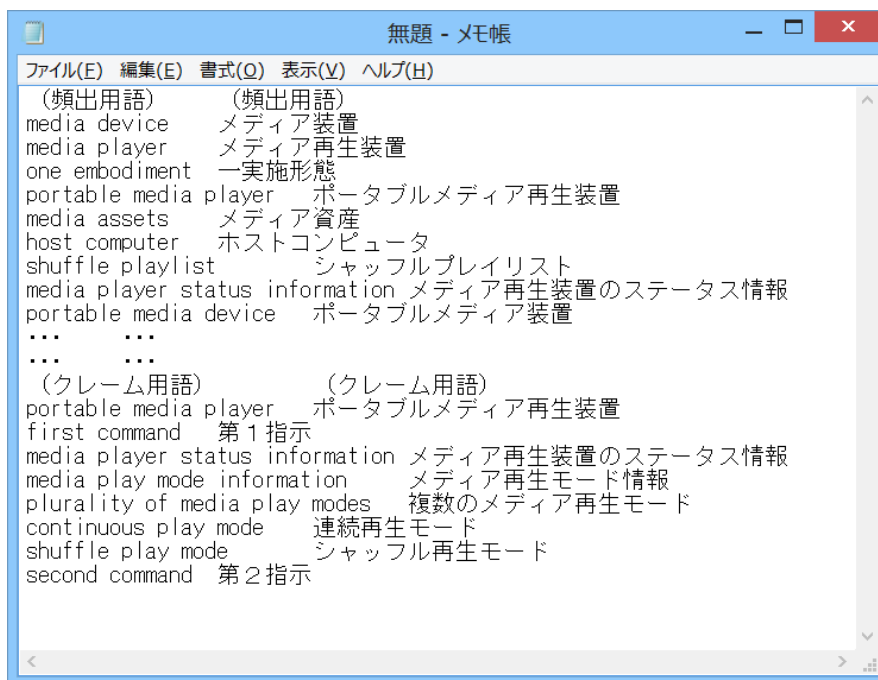


(頻出用語)
media device
メディア装置
media player
メディア再生装置
one embodiment
一実施形態
portable media player
ポータブルメディア再生装置
media assets
メディア資産
host computer
ホストコンピュータ



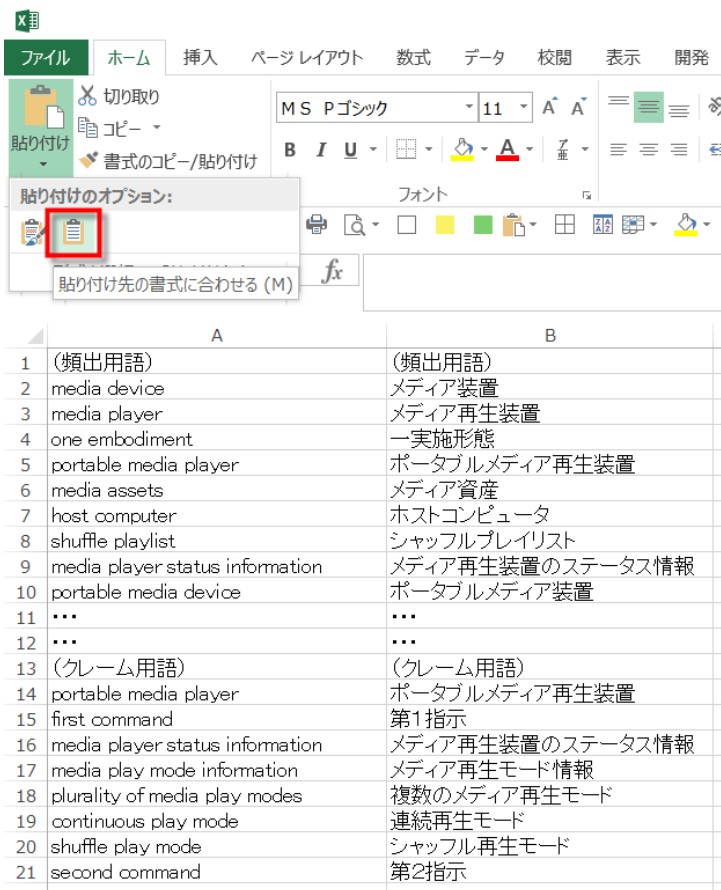
(頻出用語)	(頻出用語)
media device	メディア装置
media player	メディア再生装置
one embodiment	一実施形態
portable media player	ポータブルメディア再生装置
media assets	メディア資産
host computer	ホストコンピュータ
shuffle playlist	シャッフルプレイリスト
media player status information	メディア再生装置のステータス情報
portable media device	ポータブルメディア装置
...	...
(クレーム用語)	(クレーム用語)
portable media player	ポータブルメディア再生装置
first command	第1指示
media player status information	メディア再生装置のステータス情報
media play mode information	メディア再生モード情報
plurality of media play modes	複数のメディア再生モード
continuous play mode	連続再生モード
shuffle play mode	シャッフル再生モード
second command	第2指示

対訳表をメモ帳などのテキストファイルに貼り付けると、自動的にタブ区切りのリストに変換されます。



もちろん、Excel ファイルに貼り付けることも可能です。

[貼り付け]の[貼り付け先の書式に合わせる]ボタンをクリックして用語集を貼り付けた後に、A 列と B 列の幅を広げました。



6. 辞書管理

「山猫の爪とぎ」という Excel マクロを使って、辞書管理をします。Excel の機能を使って辞書内の文字列の重複を発見したり、記載の統一をしたりします。編集後は、元の辞書ファイル(テキストファイル、Word ファイル、Excel ファイル)に内容をコピーします。完全自動での管理ではありませんので、必要に応じてご利用ください。

[辞書管理]シートに見出し語と訳語を貼り付けます。テキスト形式の辞書ファイルであれば、[読込]ボタンから読み込むことができます。

[辞書管理]ボタンをクリックして、管理用のダイアログボックスを表示します。

[文字列処理] タブ

このダイアログボックスの[文字列処理]タブにて、見出し語や訳語の文字列に対して処理ができます。



【並べ替え】タブ

見出し語に基づいて用語の並べ替えをします。

また、備考欄に文字列を入力して、それに基づいて並べ替えもできます。備考欄に分野を記載したり、消去する候補を記載したりして、用語集の内容を管理できます。



【重複管理】タブ

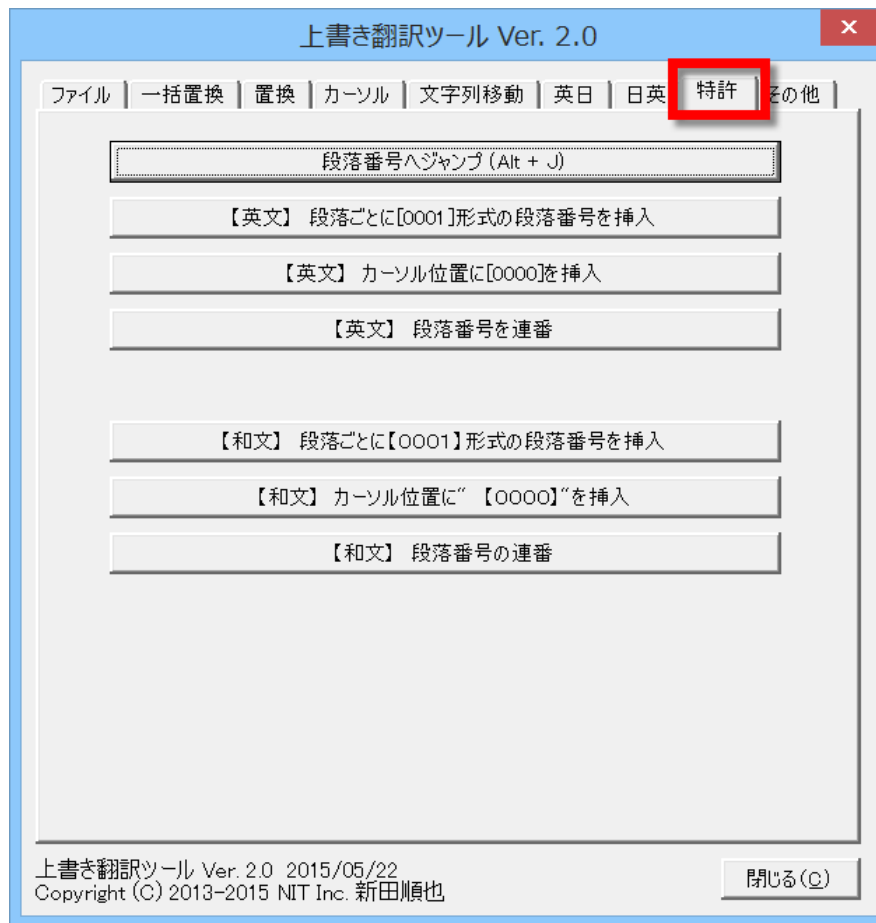
重複項目を蛍光ペンで着色します。

用語集にどのような重複があるのか時々調べてみてください。



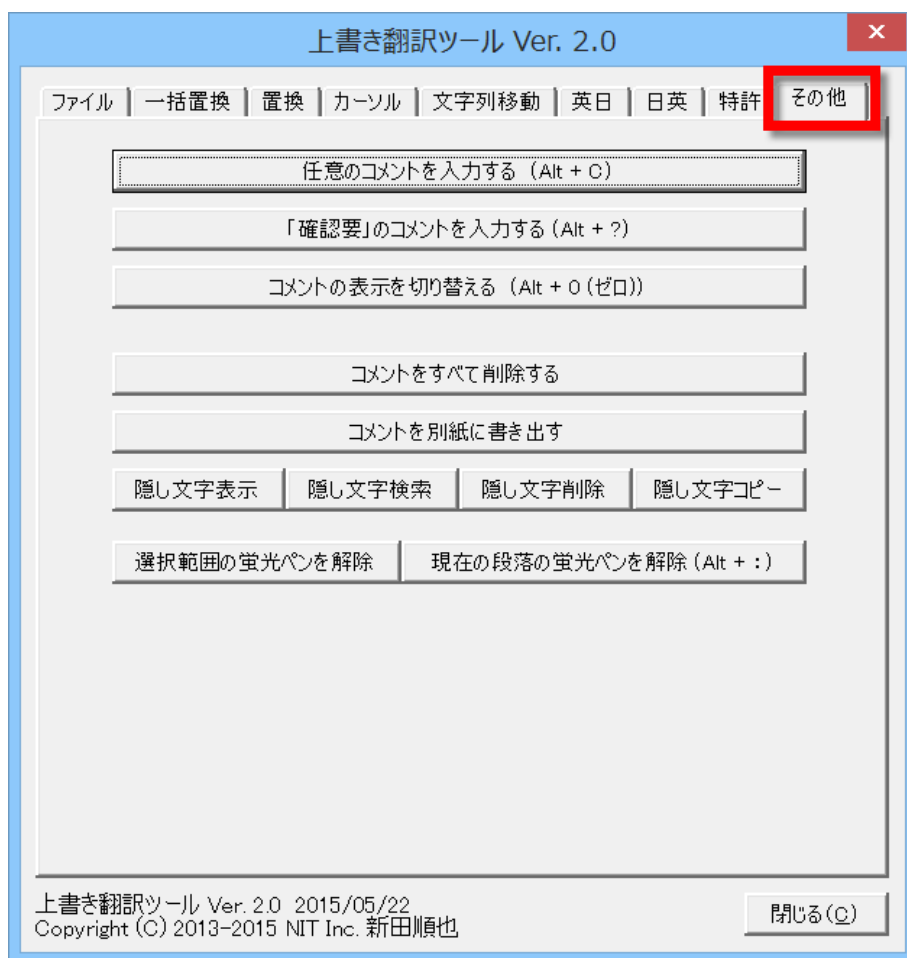
【付録 1】 そのほかの翻訳支援ツール

特許明細書の翻訳に役立つマクロ



＜機能＞	備考
段落番号ヘジャンプ	全角でも半角でも、数字を入力すると、特許明細書の段落番号のように4ケタに自動変換して段落番号にカーソルを移動させます。 5 と入力すると、【0005】または、[0005]を検索します。 先頭から検索を開始します。 隠し文字も検索対象にしています。

コメントや蛍光ペンを活用する



<機能>	備考
選択範囲の蛍光ペンを解除	文字列を選択していない場合には、カーソルの左側の 1 文字の蛍光ペンを解除します。 例えば、電気自動車と記載されている場合、電気自動車に続けて文字列「を」を入力すると、「を」にも蛍光ペンが設定されてしまいます。 電気自動車 ↓ 電気自動車を 「を」を入力した直後の上記の状態(文字列が何も選択されていない状態)でこのマクロを実行すると、カーソルの直前の文字列「を」の蛍光ペンが解除されます。 電気自動車を

以下の機能はボタンはありませんが、上書き翻訳ツールに入っています。

＜機能＞	＜マクロ名＞	備考
不要なキーを登録して無効化する	P2TS_不要なキー用のダミーマクロ	何も実行しない空っぽのマクロです。たとえば、[Insert]キーを無効化する場合には、[Insert]キーを、このマクロに割り当てます。

注意

[Alt] + [Ctrl] + [↑] と、[Alt] + [Ctrl] + [↓] にデフォルトで登録されている機能は、「P2TS_不要なキー用のダミーマクロ」を割り当てて無効化してあります。

これらは、カーソルが置かれている段落の順序を変えてしまいます。
間違って押してしまわないように、無効化させていただきました。

【付録 2】ショートカットキーの登録方法

ツールバー(またはアドインタブ)の ? ボタンをクリックして、図 1 のダイアログボックスを表示します。

[キーボードの割付け(設定ダイアログを開く)] ボタンをクリックして次ページの図 2 のダイアログボックスにてキーボードのショートカットキーを登録します。

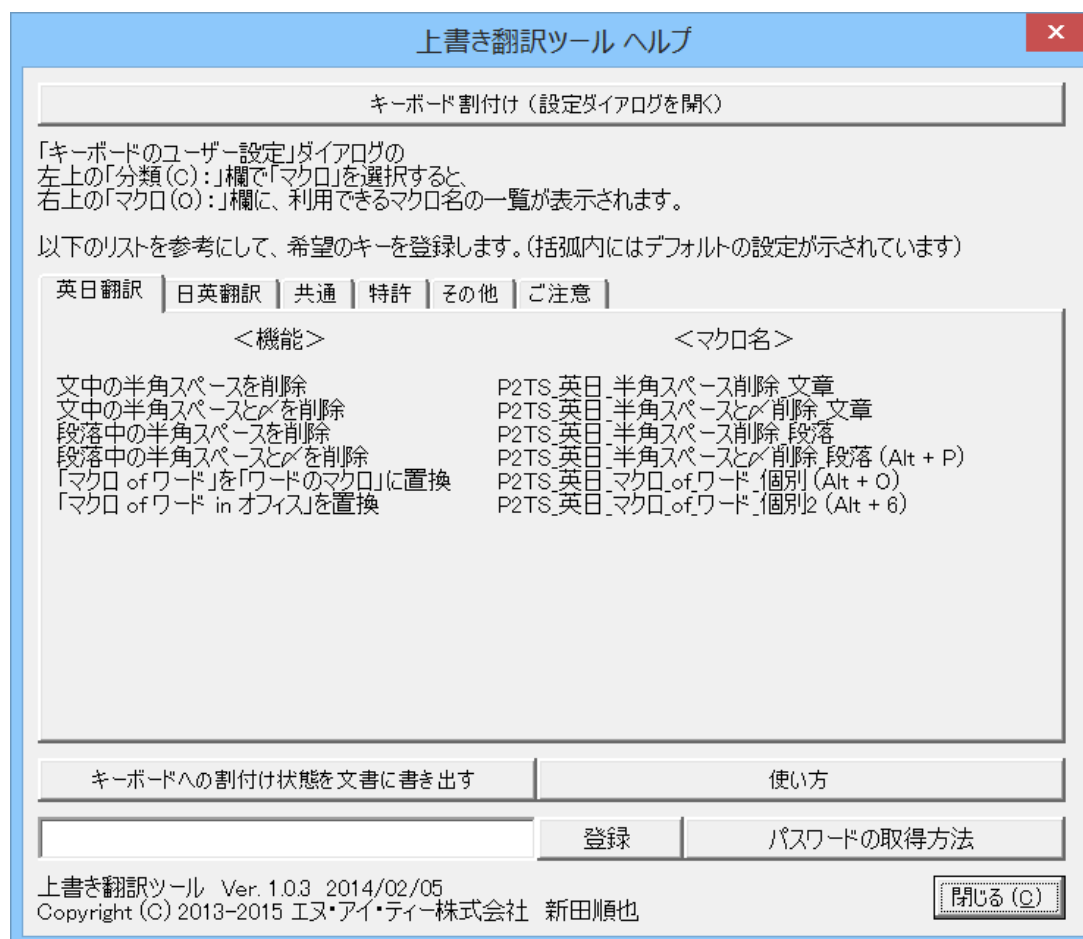


図 1 ヘルプダイアログボックス

なお、登録する機能とマクロ名を、上記ダイアログボックスの中央に記載しています。

マクロ名にはすべて P2TS_と接頭辞(プレフィックス)をつけました。

1. 「キーボードのユーザー設定」ダイアログボックスを開きます。

「キーボード割り付け(設定ダイアログを開く)」ボタンをクリックして、「キーボードのユーザー設定」ダイアログボックスを開きます(図 2)。



図 2 キーボードのユーザー設定ダイアログボックス

2. 好みのキーに設定します。

- ①ダイアログボックスの「分類(C)」欄にて、「マクロ」を選択します。
- ②右上の欄に、登録されているマクロ名の一覧が表示されます。
ここに表示されたマクロ名を選択します。
- ③「割り当てるキーを押してください」の入力欄にカーソルを置いてから、割り当てるキーを押下します。
- ④「割り当て」ボタンをクリックして、登録が終了します。
- ⑤現在、すでに割り当てられている場合には、ここに表示されます。上書き登録してもかまいません。
- ⑥「削除」ボタンや「すべて元に戻す」ボタンで、ユーザーが登録した内容を、デフォルト設定に戻せます。

(動画解説: <http://goo.gl/FJ1r4j>)

【付録3】ショートカットキーの登録における注意点

一応狙うところ（理想論）

- ①Windows の一般的なショートカットキー（[Ctrl] + [C]、[Ctrl] + [V] などありますよね）と競合しないこと
- ②Word のデフォルト設定（[Ctrl] + [Shift] + [<]、[Ctrl] + [Shift] + [+] など）をできるかぎり使いやすい状態で残すこと

新田の推奨

ご自身にとって使いやすいキーボードの割り付けを行うことが一番いいと思っています。

Word のデフォルトの設定とかぶることもあります、あまり気にしなくてもよいと思います。あくまでも、「自分のための」翻訳作業環境を作ることが目的です。Word の使わない機能のために割り当てられたキーであれば、無視してしまいいましよう。

上書きしてしまっても、削除すれば、デフォルトのキーボード割り付けが復帰します。あまり恐れずにいろいろと挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

注意したいキーボード設定

[Ctrl] + [Alt] + [↑]（上下左右すべて）：画面を回転させてしまいます。

間違って押してしまわないようにご注意ください。OS の設定なので、Word から無効化できません。

新田の設定例

私は、こんな感じにしています。ショートカットキー付きのテンプレートには、このキーが登録されています。すぐにお試しいただけるように、ショートカットキーの登録例としてつくりました。

たまたま割り付けて、そのまま使っているキーもありますから、あくまでも参考程度にご覧ください。
最終的には、ショートカットキーはご自身で付けかえた方がいいと思います。

＜機能＞	ショートカットキー	用途
段落中の半角スペースとを削除	Alt + P	英日翻訳
「マクロ of ワード」を「ワードのマクロ」に置換	Alt + O（オー）	英日翻訳
「マクロ of ワード in オフィス」を 「オフィスのワードのマクロ」に置換	Alt + 6	英日翻訳
単語先頭を大文字・小文字切替え	Alt + ↓ (デフォルト上書)	日英翻訳
文章先頭を大文字・小文字切替え	Alt + ↑ (デフォルト上書)	日英翻訳
貼付け時に、先頭の1文字だけ小文字にする	Alt + V	日英翻訳
「Word の Macro」を「Macro of Word」に置換	Alt + N	日英翻訳
「Office の Word の Macro」を 「Macro of Word of Office」に置換	Alt + 7	日英翻訳
カーソル以降の文字列に、一括で the をつける	Alt + U	日英翻訳
段落番号へジャンプ	Alt + J	特許

＜機能＞	ショートカットキー	用途
次の句読点まで進む	Alt + → (デフォルト上書)	共通
次の句読点まで戻る	Alt + ← (デフォルト上書)	共通
次の句読点まで拡げる	Alt + Shift + → (デフォルト上書)	共通
次の句読点まで狭める	Alt + Shift + ← (デフォルト上書)	共通
次の半角(or 全角)まで進む	Alt + Ctrl + →(※)	共通
次の半角(or 全角)まで戻る	Alt + Ctrl + ←(※)	共通
次の半角(or 全角)まで拡げる	Alt + Ctrl + Shift + →	共通
次の半角(or 全角)まで狭める	Alt + Ctrl + Shift + ←	共通
任意のコメントを入力する	Alt + C	共通
「確認要」のコメントを入力する	Alt + ?	共通
選択したコメントの削除(Word の機能)	Alt + B	共通
コメントの表示を切替える	Alt + 0 (ゼロ)	共通
カーソル位置の記録	Alt + Q	共通
記録した位置へ貼り付け	Alt + A	共通
行末まで選択	Shift + End	共通
数字へ範囲拡大	Alt +]	共通
選択範囲拡大	Alt + E	共通
選択された文字色を自動	Alt + Ctrl + Shift + A	共通
選択された文字色を赤色	Alt + Ctrl + Shift + Q	共通
不要なキーを登録して無効化する	Alt + Shift + ↑ (デフォルト上書) Alt + Shift + ↓ (デフォルト上書)	共通

※ Alt + Ctrl + → と Alt + Ctrl + ← のショートカットキーには、画面の回転を制御する機能が割り付けられている場合があります。

以下のブログ記事から解除方法を確認してください。

画面の回転の無効化(OS のホットキーの無効化)

<http://goo.gl/1DJWi>

【付録4】その他の関連情報

作者の関連サイト

一括置換による上書き翻訳用の置換ソフト「ぱらぱら」 <http://www.para2translation.com/>

ぱらぱらの使い方の解説、ユーザー登録などがあります。

山猫の手 <http://www.yamanekonote.com>

上書き翻訳用の[検索と置換]ダイアログボックスの強化版です。置換の履歴を保存します。

Word で動くチェックソフト「色 de チェック」 <http://www.taiyaki-align.com/>

数字や用語集によるチェックが可能です。

頻度のヒント <http://wordfreq.weebly.com>

Word 文書中で語句の使用頻度を確認できます。ぱらぱらの辞書作りにご活用下さい。

ホントのフォント <http://ameblo.jp/gidgeerock/entry-10578171838.html>

Word 文書中のフォントの情報(使用されるフォントサイズ、書式、蛍光ペンの色)を調べます。

もっときれい！ <http://ocrcleaner.weebly.com/>

OCR から生成された Word ファイルのごみ情報を瞬時に除去します。上書き翻訳用の原稿作りに最適！

右クリックで Google！ <http://www.word2websearch.net/>

Word 用の無料アドインです。Word 文書から右クリックで Google のオプション検索ができます。
ユーザー登録もできます。是非ご利用下さい。

作者連絡先

エヌ・アイ・ティー株式会社 新田順也 (nit@n-i-t.jp)

会社のお問合せフォーム (<http://goo.gl/IAzFm2>) からご連絡いただけます。

更新履歴

1.0.0	2013/06/02	セミナーにて配付
1.0.1	2013/06/04	エラー処理、機能追加
1.0.2	2013/08/25	Alt + 6, Alt + 7 の機能を追加
1.0.3	2015/02/05	一括置換マクロ、[検索と置換]ダイアログボックスマクロ等の追加
1.0.4	2015/02/18	バグ修正
1.0.7	2015/04/08	対訳表形式の翻訳作業用ファイルの作成機能を追加
2.0	2015/05/22	ユーザーインターフェースの修正、マニュアルの修正、一般公開